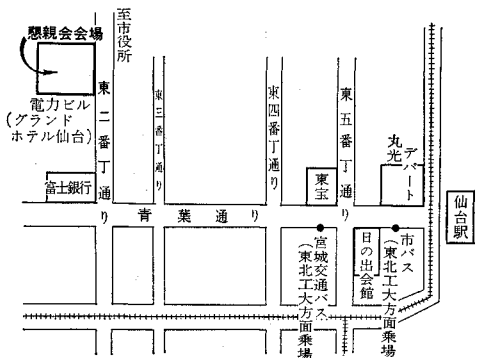
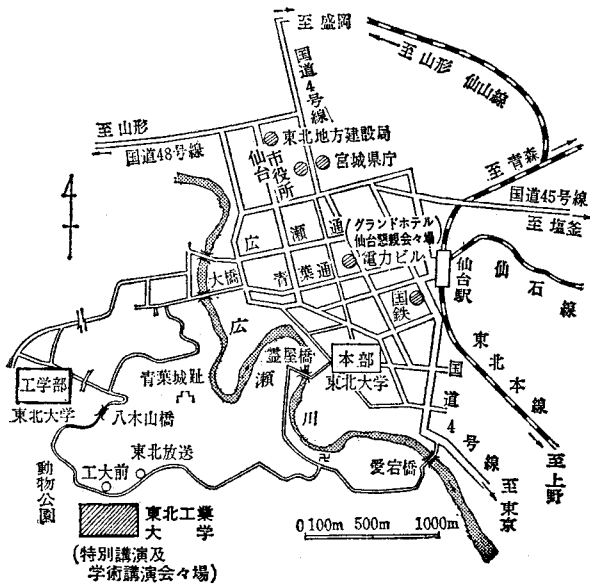


土木学会昭和46年度全国大会

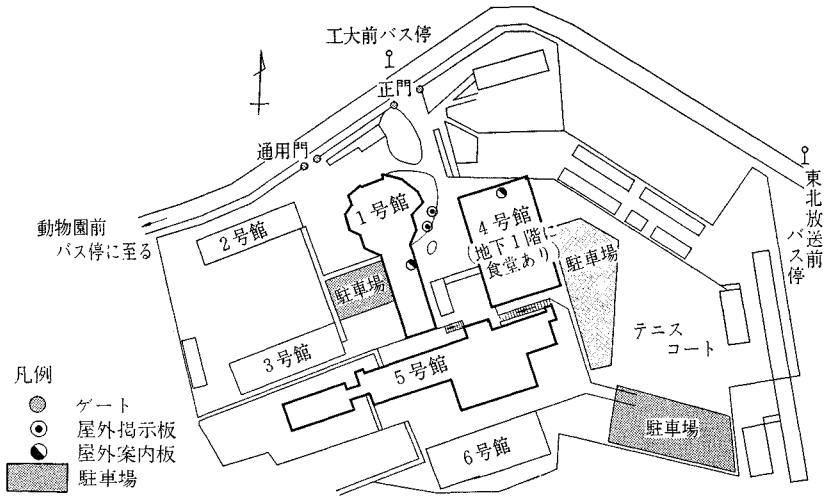
会場・行事案内

行 事	日 時	会 場	会 場 経 路
特別講演会	10月1日(金) 9.00~12.00	東北工業大学	◎東北工業大学 仙台市長町越路 19 電話 仙台 0222-29-1151 ・仙台駅前よりバス(下記)乗車(約20分)工大前下車 <仙台市営バス>・松が丘行・西の平循環(動物公園経由) <宮城交通バス> ・長町ターミナル行(動物公園経由) ・西の平行(動物公園経由)
第26回年次 学術講演会	10月1日(金) 13.00~16.00		
	10月2日(土) 9.00~16.00		
	10月3日(日) 9.00~17.00		
研究討論会	10月1日(金) 16.00~17.30		
	10月2日(土) 16.00~17.30		
映 画 会	10月1日(金) 13.00~17.00	グランドホテル仙台	◎グランドホテル仙台 仙台市一番町(電力ビル) 電話 仙台 0222-25-2101 ・仙台駅前より徒歩約10分
	10月2日(土) 9.00~17.00		
	10月3日(日) 9.00~17.00		
懇 親 会	10月2日(土) 18.30~20.00	グランドホテル仙台	

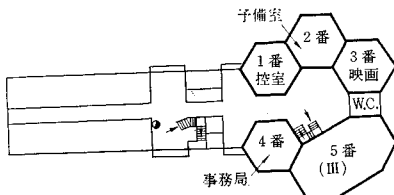
会場案内図



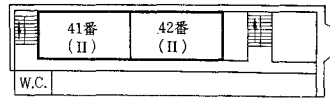
東北工業大学配置図



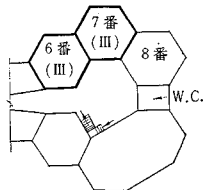
1号館1階 (第III部門・映画会)



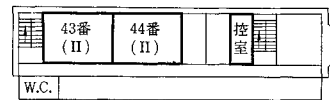
4号館地下2階 (第II部門)



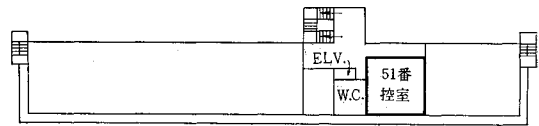
1号館2階 (第III部門)



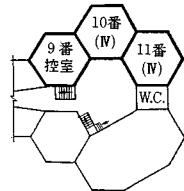
4号館地下3階 (第II部門)



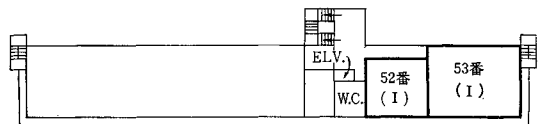
5号館2階



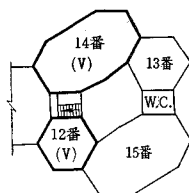
1号館3階 (第IV部門)



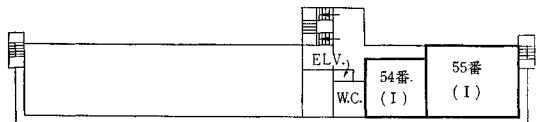
5号館3階 (第I部門)



1号館4階 (第V部門)



5号館4階 (第I部門)



1 特別講演会 (3題)

会場：東北工業大学4号館体育館

月 日	時 刻	講 演 題 目	講 演 者
10月1日(金)	9.00~10.00	道路の歴史と展望	土木学会会長 高野 務
	10.00~11.00	日本史上の東と西	東北大学教授 高橋 富雄
	11.00~12.00	人類と文明	岐阜大学学長 今西 錦司

2 第26回年次学術講演会

研究発表(868題)

会場：東北工業大学1号・4号・5号館

月 日	時 刻	部 門 別 講 演 数				
10月1日(金)	13.00~16.00	第I部門	第II部門	第III部門	第IV部門	第V部門
10月2日(土)	9.00~16.00					
10月3日(日)	9.00~17.00	236題	236題	150題	119題	127題

3 研究討論会

本年は、各部門から1~2テーマを設定し、座長及び話題提供者を中心に、一般会員に自由に参加していただき討論を行ないます。

会場：東北工業大学

月 日・時刻	会場及び座長	研究討論会題目	話題提供者
10月1日(金) 16.00~17.30	5号館 55番教室 (座長) 伊藤 学 (東京大学)	橋梁設計の問題点	多田 安夫(本州四国連絡橋公団) 猪股 俊司(日本構造橋梁研究所) 菊池 洋一(名古屋大学)
		主旨：設計概念の将来あるべき姿および設計における解析計算に対する評価などについて討議する。	
	4号館 44番教室 (座長) 林 泰造 (中央大学) (副座長) 足立 昭平 (名古屋大学)	移動床流れの粗度と河床形状について	芦田 和男(京都大学) 鮎川 登(早稲田大学) 岸 力(北海道大学) 土屋 昭彦(建設省土木研究所)
		主旨：移動床流れに現れる河床および流路の形状の諸特性と流体抵抗の関連を考察する。特に、各種形状の分類と発生機構ならびに移動床流路の抵抗予測の可能性を中心に議論を進める。	
1号館 5番教室 (座長) 市原 松平 (名古屋大学)	1号館 14番教室 (座長) 未 定	土の動的性質	石原 研而(東京大学) 小川 正二(新潟大学) 谷本 喜一(神戸大学)
		主旨：粘性土の動的強度と変形特性、砂の液状化の発生機構、砂の液状化に関する実際上の問題について討論を行なう。	
		施工合理化の問題点について——施工管理を中心として	未 定
		主旨：飛躍的に増大している建設工事を効率的に実施するため、発注形態の改善、契約の合理化、施工能力の向上などの諸要因をそれぞれ関連づけながら改善をはかる必要がある。上記に関して自主的施工(責任施工)体制への移行問題を取りあげ施工管理および実施体制上の諸問題を中心として発言討議する。	

10月2日(土) 16.00~17.30	5号館 53番教室 (座長) 久保慶三郎 (東京大学)	サンフェルナンド地震の耐震設計に対する教訓	大久保忠良(建設省土木研究所) 横田 潤(関西電力) 田村 浩一(国鉄・構造物設計事務所)
	4号館 41番教室 (座長) 末石富太郎 (京都大学)	水質汚濁の“inenvironment”コントロール	佐藤 敦久(東北大学) 南部 祥一(国立公衆衛生院) 柏谷 衛(建設省土木研究所)
	1号館 5番教室 (座長) 浜 建介 (鉄道建設公団)	トンネルボーリングマシンの地質適応性と大型化について	矢木 康昭(熊谷組) 笹木 胖(前田建設工業) 川村 良夫(佐藤工業) 三谷 健(日本建設機械化)
	1号館 10番教室 (座長) 小川博三 (北海道大学)	21世紀の国土設計——東北開発と都市づくり	鈴木 忠義(東京工業大学) 松井 達夫(早稲田大学) 戸沼 幸市() 神谷 洋(建設省)
	1号館 14番教室 (座長) 国分 正胤 (東京大学)	PC部材の限界状態設計方法の評価	尾坂 芳夫(国鉄)
		複合材料としてのコンクリートの特性	岡村 甫(東京大学) 山崎 寛司(日本セメント)
		主旨: コンクリートおよび鉄筋コンクリートをセメント硬化体・各種骨材・混和材料・鋼材などの各素材からなる複合材料という視点からとらえ、その特性を議論する。	
		主旨: 日本が先に募集した21世紀初頭の『日本の国土と国民生活の未来像の設計』の中から東北開発と都市づくりをテーマに討論を行なう。	
		主旨: 日本の複雑な種々の地質に対するトンネルボーリングマシンの適応性ならびに将来の大型化の可能性について、これまでの施工実績をもとに議論する。	
		主旨: 河川、湖沼等水域の水質汚濁に関連して、下水処理、自浄作用、水利用の立場から検討するものである。	
		主旨: サンフェルナンド地震で1g以上の加速度の記録がアーチダムの近くでとれたし、ダム、インターチェンジなども異常な加速度(約0.5g)で震動させられた。今回の震害を参考にして耐震設計の過去・未来について討議する。	

注: 話題の内容は各テーマごとに各部門概要集の巻頭に掲載すると同時に、各テーマの別刷を会場において実費頒布いたします。

4 懇 親 会

会場: グランドホテル仙台

月 日	時 刻	参 加 費	方 式
10月2日(土)	18.30~20.00	1000円	立食パーティ

参加申込: 本号添付の申込書に参加費 1000円を添えて 8月31日(火)までにお申込み下さい。満員になり次第締切ります。

5 映 画 会

会場: 東北工業大学1号館

月 日	時 刻	上 映 映 画
10月1日(金)	13.00~17.00	北上川・青函トンネル・加古川橋梁ブロック工法・その他
2日(土)	9.00~17.00	
3日(日)	9.00~17.00	

6 見学旅行会

(1) 日帰りコース

名 称	期 日	定 員	参 加 費	見 学 コ ー ス
蔵王エコーラインコース	10月4日(月)	100名	1000円	9.00 仙台—茂庭(東北縦貫道工事)—青根—エコーライン—遠刈田—船岡城跡—仙台 16.00
中尊寺コース		100名	1200円	9.00 仙台—築館—蔵美溪—毛越寺—中尊寺—水沢緯度観測所—一の関 17.45(解散)
松島コース		100名	1000円	9.00 仙台—仙台新港—塩釜—松島海岸—塩釜神社—仙台 16.00

(2) 一泊コース

名 称	期 日	定 員	参 加 費	見 学 コ ー ス
青函コース	10月4日(月) 5日(火)	40名	5000円	14.10 18.00 8.30 青森(集合)—八甲田ロープウェー—浅虫温泉—(泊り) 竜飛(青函トンネル工事見学)—青森(解散) 18.00

参加申込：本号添付の申込書に参加費を添えて8月31日(火)までにお申込み下さい。満員になり次第締切ります。

7 宿泊及び乗車券

宿泊および乗車券のお世話はいたしません。各自でお手配下さい。

8 第26回年次学術講演概要集

B5判にオフセット印刷した講演概要を、部門別分冊として頒布いたします(9月上旬土木学会本部内全国大会講演概要集係より送本予定)頒布は原則として予約制です。

部 門	部 門 別 内 容	頒 価
第 I 部	応用力学・構造力学・構造工学・橋梁一般・鋼橋など 236 題 約 740 頁	1600 円
第 II 部	水理学・水文学・河川工学・港湾工学・海岸工学・発電水力・衛生工学など 236 題 約 718 頁	1500 円
第 III 部	土質力学・基礎工学・岩盤力学など 150 題 約 494 頁	1100 円
第 IV 部	道路工学・鉄道工学・交通計画・都市計画・国土計画・測量など 119 題 約 334 頁	700 円
第 V 部	土木材料・土木施工法・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学など 127 題 約 368 頁	800 円

購入申込：本号添付の申込書に代金を添えて8月31日(火)までにお申し込み下さい。

9 申 込 先

〒980 仙台市二日町 18-25 丸七ビル
土木学会東北支部内 全国大会係 TEL 仙台 (0222)-22-8509

10 第 26 回年次学術講演会プログラム

第 I 部門 (応用力学・構造力学・構造工学・橋梁一般・鋼橋など)

注：勤務先 C はコンサルタントを示す。

5 号館 3 階 52 番教室
10 月 1 日 (金)

個人発表 (弾塑性・応力集中)

13.00~14.24

- (I-1)⑤ 3次元弾性非軸対称問題の解法
 阪工大正岡村宏一
- (I-2) 帯状突起を有する半無限板の応力解析
 名工大正岡林 稔男
 京大正岡長谷部 宣
- (I-3)⑤ 鉄筋コンクリートばりの粘弾性曲げ
 秋田大正色部 誠之
 学○赤木 知
- (I-4) カップルストレスを考慮した材料の降伏条件に関する考察
 東北大正○岸野 佑次
 学○佐武 正雄
- (I-5) 複合材料の力学的性質に関する一考察
 東大正久保 慶三郎
 学○松本 徳久
- (I-6)⑤ 高張力鋼の構造部材としての特性
 東大正○奥村 敏恵
 学○星 登 正明

(休憩 6 分)

個人発表 (弾塑性・応力集中)

14.30~15.54

- (I-7) U形切欠きを有する半無限板の応力解析
 名工大正岡林 稔男
 学○長谷部 宣
- (I-8)⑤ 選点法による二次元応力解析
 九大正○後藤 恵之輔
 学○村 里 正彦
- (I-9)⑤ 数個の孔を有する弾性梁内の応力状態
 京大正丹羽 義次
 学○平 島 健一
- (I-10)⑤ 補強円孔をもつ板、はりの応力集中
 九大正○後藤 恵之輔
 学○梅 本 明宏
- (I-11)⑤ 片側ダブルリングの補強効果について
 埼玉大正○秋山 成興
 首都高速大前 田村 敏夫
 東大正○奥 村 敏
- (I-12) 斜交パイプ構造継手近傍における応力の解析
 豊田高専正桜井 孝昌

5 号館 3 階 52 番教室
10 月 2 日 (土)

個人発表 (光弾性)

9.00~10.33

- (I-13)⑤ 応力集中部周辺の弾塑性域の拡がりについて
 中部工大正塩見 弘幸

- (I-14)⑤ 有孔ばりの弾塑性域の拡がりについて
 広島大正大村 裕美誠
 学○池田 上野谷
- (I-15) 光弾性実験法による直交異方性板の内部応力解析法
 都立大学安井 将文
- (I-16)⑤ 光弾性実験法によるワイドフランジビームの有効幅について
 信州大正吉田 俊弥
 学○和 三井 康三 司夫
- (I-17) 重量構造物の光弾性実験
 東洋大正浅井 貞重
- (I-18)⑤ 南港連絡橋ケーソン基礎の光弾性実験
 東洋大正高田 孝信
 阪神高速大○松村 孝一郎
 学○林 秀 一 佩
- (I-19) 吊橋ケーブルのパイプアンカーに関する研究
 都立大正○山本 稔史
 新日鉄大正○小山 林 崎 磨 良 一

(休憩 7 分)

個人発表 (疲労)

10.45~11.55

- (I-20)⑤ 80 kg/mm² 高張力鋼梁の曲げ疲労試験
 鉄研正○伊藤 藤島 文一郎
 四公研 西 郷 勲次郎
- (I-21)⑤ 調質高張力鋼 (80キロ鋼) 溶接部の疲労に関する研究
 川崎製鉄 正田 中康 浩夫
 学○石川 渡正 義 浩
 学○行 友 義 浩
- (I-22)⑤ 圧延H形鋼の曲げ疲労強度について
 名工大正○菊池 洋一
 学○山神 田谷 健太郎
 学○神 谷 周 浩
- (I-23)⑤ スタッド付鋼板の疲労強度に関する実験的研究
 阪大正○梶川 幸雄
 学○梶 田川 幸靖
 川崎製鉄 正鈴 木 吉 彦
- (I-24)⑤ 薄肉鋼管の船積輸送について
 住友金属 正久 光脩 文昭
 学○渡 辺 奉 昭

(休憩 65 分)

個人発表 (クリープ)

13.00~13.28

- (I-25)⑤ 鉄筋コンクリート不静定ばりのクリープおよび収縮応力解析
 九大正○彦坂 照
 学○田 中 康 順
- (I-26)⑤ 連続合成桁のクリープ算定法について
 九大正彦坂 照
 学○高 橋 良 明

個人発表 (座屈)

13.28~14.24

- (I-27) 連続長柱及びラーメンの全体座屈
 信州大正 谷本 勉之助
 学○夏 目 正太郎
 学○的 場 興 司

- (I-28) 集中荷重によるアーチの座屈について
長崎大正崎山毅
- (I-29) 適合法によるはりの非線形解析
福岡大正黒木健実
- (I-30) 中心荷重を受ける鋼短柱の耐荷力について
東北大正倉西茂
(休憩 6分)

個人発表 (座屈)
14.30~15.54

- (I-31) 吊橋主塔の座屈安定性について
長大橋設計センター 正○森田泰生史右
" " " " 中坂村上幸
- (I-32) 補剛された中空円形断面柱の座屈に関する一つの考察
名工大正○松浦聖夫
" " " " 学片山陽
- (I-33) ラーメン角形隅角部の弾性座屈
関西大正○武田八郎博
" " " " 米沢
- (I-34) 圧縮と曲げを受ける鋼柱の局部座屈
東大正○長谷川彰夫
" " " " 西野村文敏
" " " " 奥村
- (I-35) 長方形薄鋼板の弾塑性座屈の解析
阪工大正○岡村宏一憲
大阪設計C " " " " 吉田
- (I-36) 扇形板の曲げ弾性座屈
関西大正三上市蔵
" " " " 赤松洋

5号館3階52番教室
10月3日(日)

個人発表 (耐荷力と崩壊)
9.14~10.24

- (I-37) 連続ばりの弾塑性安定問題の解法
九大正○榎木武雄
" " " " 学○林田紀
- (I-38) (欠番)
- (I-39) 両端固定ヒンジ支承を有するI断面鋼桁の曲げ弾塑性挙動について
室蘭工大正○中村作太郎雄
" " " " " " 志村政
- (I-40) 梯形ラーメン橋の塑性設計に関する基礎的実験について
金沢大正○吉田博光
富山県 " " " " 安原宗
- (I-41) ラーメン構造の変形性状におよぼすひずみ硬化の影響
金沢大正喜内敏博
" " " " " " 喜吉田
石川高専 " " " " " " 中村昭
(休憩 6分)

個人発表 (耐荷力と崩壊)
10.30~11.54

- (I-42) 高次不静定構造物の耐荷能力の追跡について
徳島大正星治弘雄行潔
" " " " " " 児嶋尾
" " " " " " 平
- (I-43) 2次元組み合せ応力を考えた塑性解析について
徳島大正星治弘雄行潔
" " " " " " 児嶋尾
" " " " " " 平

- (I-44) はり-柱の曲げねじれ座屈におよぼす残留応力の影響
金沢大正吉田博進敏
" " " " " " 西田内
" " " " " " 喜
- (I-45) 端部回転が軸力に比例する柱の耐荷力について
東北大正○倉西茂哉
" " " " " " 学矢橋本 哲二
" " " " " " 学
- (I-46) 圧延H型鋼柱の座屈強度分布
名 " 大正福本 嘸士彦
" " " " " " 学○青木 徹
- (I-47) 吊橋の弾塑性大たわみ解析
宮崎大正○村田重俊之昭
" " " " " " 太田
- (休憩 66分)

総括報告 (プレートガーダーの耐荷力)
13.00~14.24

- (I-48) プレートガーダーの非弾性曲げ座屈
関西大正○米上市蔵博
" " " " " " 米沢
- (I-49) 腹板の初期たわみがプレートガーダーの挙動に及ぼす影響についての理論的考察
京大正○山田善一
" " " " " " 渡辺英
- (I-50) プレートガーダーの曲げ耐荷力に関する研究
神戸製鋼所 正 森脇良真一之
" " " " " " 野
- (I-51) プレートガーダーのせん断耐荷力に関する研究
神戸製鋼所 正 森脇良真一之
" " " " " " 野 藤田中 梧
- (I-52) はりの曲げ変形が横倒れ座屈荷重に及ぼす影響について (第2報)
神戸製鋼所 正 波田凱夫
- (I-53) 非対称I形断面はりの横倒れ座屈
名 " 大正○福本 嘸士弘敏
" " " " " " 学 久横山 全
- (休憩 6分)

個人発表 (プレートガーダーの耐荷力)
14.30~14.58

- (I-54) アルミ合金桁の横倒れ座屈に関する研究 (5報)
阪大正前田幸雄彦良
大阪府高専 " " " " " " 三宮和政
神戸製鋼所 " " " " " " 梶本
- (I-55) ハイブリッド・プレートガーダーの曲げ耐荷力に関する実験的研究 (続)
阪川製大正前田幸雄彦良
川崎製大 " " " " " " 学○川井 勝

個人発表 (衝撃)
14.58~15.54

- (I-56) 塑性設計上からみたせん断変形についての考察
石川高専 正○出村博典雄
金沢大 " " " " " " 小堀為
- (I-57) 衝撃荷重を受ける円弧アーチの弾性応答
防衛大正岡元北海隆幸
" " " " " " " " 学 石山下 信重
- (I-58) 衝撃を受けたラーメンの塑性変形について
山口大正最上幸夫雄昭
新井組 " " " " " " 林組 小川
- (I-59) Design of Rubber Fenders Considering Ship Load Impact
阪大正小松定夫トド
" " " " " " 学○アブド・ハミド
" " " " " " " " ヨーセフ・サルマン

5号館3階53番教室

10月1日(金)

個人発表(波動)
13.00~14.24

- (I-60)◎ 変断面構造の応力波伝播解析
広島大 正 佐藤 誠
- (I-61)◎ 部材中を伝播する曲げ波動についての考察
東北学院大 正 樋渡 滋
- (I-62) 地中周期力による弾性地盤上の板の波動伝播
九 大 学 ○ 森 博
" " 正 横 田 人
" " " " 田 漢
- (I-63) 応力波伝播の機構について
東北大 正 多 谷 虎 男
" " " " ○ 秋 田 宏
- (I-64)◎ 飽和した非線形多孔質弾性体中を伝わる波動の
simple wave 解について
京 大 学 佐 藤 忠 信
- (I-65)◎ 走行荷重による異方性半無限体の応力分布につ
いて
京 大 正 丹 羽 義 次
" " " " 小 林 昭 一
" " 学 ○ 福 井 卓 雄

(休憩 6分)

個人発表(振動)
14.30~15.54

- (I-66) 演算子法による梁の合成振動
信 州 大 正 谷 本 勉之助
" " " " 夏 目 正 太郎
" " " " 学 ○ 有 沢 清 一 志 民
- (I-67) 粘性支点を有する片持梁の振動について
東北大 正 倉 西 茂
" " " " ○ 高 橋 夫
" " " " 松 山 龍 正 将
- (I-68) 固有関数法による板の自由振動
信 州 大 正 谷 本 勉之助
" " " " 学 ○ 小 沢 公 共
- (I-69) 3連応力法による平板の固有振動解析について
室 蘭 工 大 正 能 町 純
北 見 工 大 " ○ 佐 渡 公 雄 明
- (I-70)◎ 縦横リブを有する板の固有振動解析について
室 蘭 工 大 正 能 町 純
" " " " 学 ○ 佐 藤 藤 健 一 博
- (I-71)◎ 衝撃を受ける扇形板の非線形過渡振動
九 大 正 榑 木 武
長 崎 大 " ○ 高 橋 和 雄

5号館3階53番教室

10月2日(土)

個人発表(振動)
9.00~10.38

- (I-72) 骨組構造物の振動性状に及ぼす軸力の影響につ
いて
阪 大 正 前 田 幸 雄
" " " " ○ 林 正
- (I-73) 長径間トラス橋の自由振動について
福 岡 大 正 村 上 正
山 口 大 " ○ 会 田 忠 義

- (I-74) 無次元量による吊橋とアーチ橋の動的静的解析
熊 本 大 正 ○ 平 井 男
三 井 港 湾 " " 吉 村 一
" " " " 宮 崎 威 夫

- (I-75)◎ 曲線げた橋の衝撃係数について
阪 市 大 正 ○ 中 井 博
" " " " 事 口 寿 男

- (I-76) 送信用空中線鉄塔の振動解析
日 立 造 船 正 ○ 今 井 節 雄
" " " " 近 藤 淳

- (I-77)◎ ジャイロコンパスの構造物計測への応用
名 大 正 島 田 藤 雄
" " " " 学 ○ 加 藤 史
前 田 建 設 正 高 田 雅 彦

- (I-78) 青蓮寺ダムの振動測定
名 本 大 正 島 田 静 雄
新 日 鉄 " " ○ 宮 下 力
" " " " 山 岡 弘 周
(休憩 7分)

個人発表(常時微動・地震動の解析)
10.45~11.55

- (I-79)◎ Feed-Back 系による地盤振動の反射屈折現象の表現
九 州 大 正 小 坪 清 真
九 州 工 大 " ○ 高 西 照 彦

- (I-80)◎ 周波数特性よりみた強震記録の分類
建 士 研 正 栗 林 柴
" " " " " 岩 崎 一
" " " " " ○ 辻 敏 男 成

- (I-81)◎ 北海道内で得られた強震記録の解析方法について
北 海 土 試 正 井 藤 昭 夫

- (I-82) 常時微動によるモード解析の実用化
九 大 正 小 坪 清 真
" " " " 学 ○ 串 野 間 正 敏

- (I-83) 常時微動を用いた地盤のせん断弾性定数の推定
九 大 正 小 坪 清 真
佐 賀 大 正 荒 尾 吉 宏
" " " " 学 ○ 中 尾 吉 宏
(休憩 65分)

個人発表(耐震)
13.00~14.24

- (I-84)◎ 1質点系の非線形地震応答に関する研究
都 立 大 正 奥 田 秋 夫
" " " " " ○ 国 井 隆 弘

- (I-85) 地震応答解析に関する2,3の問題点について
間 組 正 山 口 靖 紀

- (I-86) 代表点法による応答計算の得失について
九 大 正 小 坪 清 真
九 州 工 大 " " 高 西 照 彦
九 大 学 ○ 秋 尾 隆 吉

- (I-87)◎ 地震動が構造物に与える影響度の一算定法
建 士 研 正 岩 崎 敏 男

- (I-88)◎ 構造物の最大地震応答の推定法について
京 大 正 亀 田 弘 行

- (I-89)◎ 多層地盤のセン断波動による振動応答
北 大 正 金 子 孝 吉
(休憩 6分)

個人発表(耐震)
14.30~15.40

- (I-90)◎ 斜張橋の耐震特性(第2報)
岩 手 大 正 宮 本 裕

- (I-91) 構造物の立体振動解析について
長 大 橋 設 計 セ ン タ ー 正 柴 田 定 昭
" " " " " ○ 友 沢 武 義
" " " " " 草 原 昭 博

- (I-92) 高橋脚連続曲線桁橋の地震応答解析
熊本大正吉村虎蔵
佐世保重工〇宮村重範
- (I-93)Ⓢ 高架構造橋梁の地震応答
建土研正久保林忠良
" " "〇栗谷林栄一裕
- (I-94) 南港連絡橋主橋梁の耐震設計
阪神高速正笹戸松二
" " "〇河井井章好晋

5号館3階53番教室
10月3日(日)

個人発表(基礎・地中構造物の耐震)
9.14~10.24

- (I-95)Ⓢ 斜組杭を用いた棧橋の地震応答性状
鹿島建設正三村長二郎
" " "〇村中山八三雄生一
- (I-96) 周期荷重による板と弾性地盤の相互作用
九大正横田漢
- (I-97)Ⓢ マトリックス法による基礎構造の地震応答解析
建土研正栗林林栄一裕
" " "〇飯田
- (I-98)Ⓢ 不均質地盤中の円柱基礎の周波数応答特性について
熊本大正秋吉卓
- (I-99)Ⓢ 履歴復元力を有する構造物基礎の振動特性について
京大正後藤尚男
" " "〇北原浦進勝

(休憩 6分)

個人発表(基礎・地中構造物の耐震)
10.30~11.40

- (I-100) 群杭基礎の動的特性に関する実験的研究
東洋大正高田孝信
" " "〇高田清美
- (I-101)Ⓢ 地中埋設物の振動特性について
京大正後藤尚男
" " "〇高田至一郎
- (I-102) 地中構造物に働く地震力について
九道公大正小川坪人清達真男
九路公大〇学村田繁
- (I-103)Ⓢ 沈埋トンネルの地震応答計算
大成建設正浜田政則
- (I-104) F.E.M.による沈埋トンネルの地震応答計算方法について
大林組正〇後藤洋三
" " "〇佐藤拓順男

(休憩 80分)

個人発表(耐風)
13.00~14.24

- (I-105)Ⓢ 定常風中における正方形断面に作用する動的空気力に関する基礎的考察
京大正小白西一成郎
" " "〇松本勝人
- (I-106) 角状構造物の空力特性に関する二、三の実験的研究
京大正小白西一成郎
" " "〇齋藤正人通

- (I-107)Ⓢ 箱型構造物のまわりの流れに関する一実験
九大正中村泰治
" " "〇溝田武人
- (I-108)Ⓢ 箱型構造物のフラッタに関する一実験
九大正〇溝田泰治
" " "〇溝田武人
- (I-109) 複翼床断面に作用する空気力
東三井建設正〇田中宏
" " "〇尾形宏文
- (I-110) トラス型橋梁断面に作用する動的空気力に関する二、三の実験的研究
京大正小白西一成郎
" " "〇桑島石島均

(休憩 6分)

個人発表(耐風)
14.30~16.22

- (I-111) 乱れた気流中の構造物の応答とその空気力
東大正〇宮田利雄
建設省〇望月倫也
- (I-112)Ⓢ 自然風による実橋の振動観測例(第2報)
中大正〇内粟功和
東大〇小栗英和
- (I-113) 吊橋主塔の実際風による振動について
日立造船正〇牛尾正利
" " "〇植田条正之洋
- (I-114)Ⓢ 煙突の強風による振動
秋田大正色部誠三
" " "〇薄木征三
- (I-115)Ⓢ 風による鉄塔支持型煙突の部分模型振動実験について
秋田大正色部部誠三
" " "〇薄木田征孟三史
- (I-116)Ⓢ ジャイロによる吊橋の耐風制振効果
東大正〇伊藤藤学
本四公団〇村田正信
- (I-117)Ⓢ 斜張橋の耐風性に関する2, 3の考察
東住友大正伊藤俊学
" " "〇北原川学男志
" " "〇砂
- (I-118) 南港連絡橋主橋梁の耐震設計
阪神高速正松河本忠重夫
" " "〇北井沢正彦

5号館4階55番教室
10月1日(金)

個人発表(骨組)
13.00~14.24

- (I-119) 任意形状部材の平衡および剛性マトリックスの誘導
熊本大正三池亮次
" " "〇村上上亮司
- (I-120)Ⓢ 曲線材を含む立体構造物の剛性マトリックス法による解析について
北大正芳村仁
" " "〇岩村上淳男
- (I-121) 曲線トラス上路橋の立体解析
信州大正夏目正太郎
建設技研〇井谷本宏
信州大〇谷本勉之助
- (I-122) リブアーチの立体解析
信州大正谷本勉之助
日本構造橋梁〇夏田正太郎
" " "〇原保二

(I-123) 弾性地盤に支持されている二層式ラーメンの一
解析法 (第1報) 日 大 正 木 田 哲 量

(I-124) 剛節骨組構造物の動的解析
京 大 正 小 西 一 郎 人 男
" " " 学○谷 白石 口 一成 健

(休憩 6 分)

個人発表 (構造解析—一般)
14.30~15.40

(I-125)◎ Hermite 階差法による構造物の固有振動解析
岐阜 大 正 井 上 肇

(I-126) 有限変形法における一考察と比較
法 政 大 正 大 地 羊 三 夫
東日交通 C " " " 白 井 英 夫

(I-127) 非線型有限変形法による骨組構造物の大変形解析
宮地鉄工所 正 後 藤 大 紀 護
" " " " 大 西 律 茂 夫
" " " " 大 規 規

(I-128) 基礎の特性を考慮した構造物の静的解析
早 大 正 宮 原 玄

(I-129)◎ 円形に配置された鋼管パイルの基礎の応力計算
について
室蘭工大 正 能 町 純 雄 一
" " " 学○沢 松 田 健 之 知

5号館4階55番教室
10月2日(土)

総括報告 (構造解析—演算子法)
9.00~10.38

(I-130)◎ 演算子法の概説
信 州 大 正 谷 本 勉 之 助
" " " 学○夏 本 目 正 太 郎

(I-131) 演算子法による連続ワーレントラスの立体解析
信 州 大 正 谷 本 勉 之 助
" " " 学○夏 本 目 正 太 郎
" " " 学○稲 葉 原 正 輝 雄 寛

(I-132) 演算子法による多部材任意ラーメンの解析
信 州 大 正 石 川 清 志
" " " 学○夏 本 目 勉 之 助
" " " 学○小 宮 正 太 郎

(I-133) 演算子法による一般格子の解析
信 州 大 正 石 川 清 志
" " " 学○夏 本 目 勉 之 助
" " " 学○鈴 木 一 幸 平 吉

(I-134) 演算子法によるトラス組橋脚上の連続梁の解析
信 州 大 正 谷 本 勉 之 助
" " " 学○夏 本 目 正 太 郎
" " " 学○松 尾 安 光 衛 雄

(I-135) ある弾性基礎上の連続梁の演算子法解析
日本建設技術社 正○阿久 和 明
信 州 大 " 夏 本 正 太 郎
" " " 谷 本 勉 之 助

(I-136) 演算子法による剛体板下の基礎杭の立体解析に
ついて
信 州 大 正 石 川 清 志
" " " 学○夏 本 目 勉 之 助
" " " 学○福 吉 岡 正 幸 郎 広 孝

(休憩 7 分)

個人発表 (構造解析—有限要素法)
10.45~11.55

(I-137) 有限要素法における一, 二の考察
法 政 大 正 大 地 羊 三 夫
川 田 工 業 " " " " 金 光 善 旭

(I-138) 有限要素法による有限変形増分解法の相互関係
について
早 大 学○溝 田 順 一 人
ユ ニ ッ ク 大 " " " " 堀 井 健 一 郎
早 " " " " " 堀 井 健 一 郎

(I-139)◎ 節点の接続をトポロジー的に考慮した有限要素法
東北 大 学○新 関 正 茂 雄
" " " 正 佐 武 正 雄

(I-140) 有限要素法と数値誤差について
伊藤忠電子計算サービス 正 武 田 洋

(I-141)◎ 直角二等辺三角形要素を用いた平板曲げ解析の
定積分変換による検討
室 蘭 工 大 正 能 町 純 雄 一
" " " " 学○松 岡 健 一

(休憩 65 分)

個人発表 (構造解析—有限要素法)
13.00~14.24

(I-142)◎ 曲率一次分布の平板曲げ有限要素マトリックス
東 工 大 正 吉 田 裕

(I-143) 有限要素法による板の面内応力解析
信 州 大 正 石 川 清 志
" " " 学○夏 本 目 勉 之 助
" " " " 夏 本 目 正 太 郎

(I-144)◎ 3スパン連続斜板の支点反力に関する研究
名 大 学○川 島 一 彦 夫
" " " 正 梶 田 昌 夫
" " " 正 梶 田 昌 夫

(I-145)◎ 非線型有限要素解析に対する2, 3の考察
名 中 部 大 正 川 本 脱 万
" " " 学○電 力 正 宮 池 克 人

(I-146) 弾塑性問題の解析法に対する一考察
日 本 鋼 管 正○小 杉 津 孝 治
早 " " 学 大 板 橋 井 啓 一 郎
" " " 学 大 板 橋 井 啓 一 郎

(I-147) (欠番)

(休憩 6 分)

個人発表 (構造解析—有限要素法)
14.30~15.54

(I-148) 有限変形を考慮した有限要素法による連続体の
弾塑性解析
兵 庫 大 正○前 田 昌 俊
" " " " 兵 庫 大 正 井 昌 輔

(I-149) 有限要素法によるマイクロボラ弾性体の解析
ユ ニ ッ ク 正○川 原 陸 人
芙蓉情報早 大 " " " 堀 井 義 健 一 郎
早 " " " 堀 井 義 健 一 郎

(I-150) 有限要素法による初期値問題の一解法
早 大 学○森 藤 繁 泰
" " " " 正 堀 井 健 一 郎
" " " " 内 藤 健 一 郎

(I-151) 拡散問題への FEM によるアプローチについて
鹿 島 建 設 正○佐 木 猛 頭
" " " " 杉 岡 博 史

(I-152) 有限要素法によるベアリングプレートの解析
伊藤忠電子計算サービス 正 武 田 洋
" " " 学○渡 田 隆 之

(I-153)◎ 取水塔の応力解析について
名 大 正○斎 藤 敏 明
" " " " 川 本 敏 夫

5号館4階55番教室

10月3日(日)

個人発表(板)
9.00~10.24

- (I-154)◎ 部分支持板の曲げについて
 阪市大正倉田宗章
 " " "谷平川勉
 " " "〇痛都志雄
- (I-155) 4辺単純支持された変断面矩形板の解析
 山口大徳田稔夫
 " " "〇正中川建治
- (I-156)◎ 一对辺がラーメンと剛結する矩形板の影響面解法
 九大正倉田宗章
 川崎製鉄正山崎忠男也
- (I-157)◎ 直線辺が弾性支持される扇形平板の解法
 九大正倉田宗章
 " " "〇大塚久男哲
- (I-158)◎ Point Matching Method による有孔平板の解析とその応用について
 北大正芳村仁
 本四公団 "〇谷中幸和
- (I-159)◎ フラットスラブの3次元弾性解析(3次, 2次, および1次元構造要素の結合体としての一体的解析)
 阪工大正岡村宏一
 大阪設計C "〇島田一功

(休憩 6分)

個人発表(板)
10.30~11.12

- (I-160)◎ 壁と一体になった長方形厚版の3次元弾性解析
 阪工大正岡村宏一
 大阪設計C "〇進藤泰男
- (I-161) 固有函数法の固有値総括
 信州大正谷本勉之助
 " " "〇夏原正太郎実
- (I-162) 固有函数法による板の面内応力解析
 信州大正谷本勉之助
 " " "〇夏原正太郎俊樹

個人発表(シェル)
11.12~11.54

- (I-163)◎ 多柱式鋼管基礎のシェル構造解析
 阪市大正倉田宗章
 大阪設計C "〇島田山功隆
- (I-164)◎ 多面楕円体の応力特性について
 室蘭工大正能町純雄
 " " "〇松佐健一隆
- (I-165)◎ 帯板要素法によるボックスカルバートの応力解析について
 室蘭工大正能町純雄
 " " "〇松越健一隆

(休憩 66分)

個人発表(薄肉構造)
13.00~14.24

- (I-166)◎ 薄肉梁の一解析法とダイヤフラムの効果について
 電研正〇中村秀治
 東大 "〇奥村敏恵
- (I-167)◎ 鋼床版台型箱桁の断面変形とダイヤフラム
 東大正〇奥村敏恵
 川崎重工 "〇坂井藤一

- (I-168)◎ 変断面箱桁の曲げ振りについて
 室蘭工大正能町純雄
 " " "〇尾崎島俊之
- (I-169)◎ 折板構造解析による連続箱桁の曲げねじりについて
 室蘭工大正尾崎 剛
- (I-170)◎ 箱桁鋼床版の応力分布について
 道開発局正吉田 紘一
- (I-171)◎ バネ支持された薄肉ばりのねじりについて
 阪市大正倉田宗章
 明石高専 "〇高田宏直

(休憩 6分)

個人発表(床板)
14.30~15.40

- (I-172) (欠番)
- (I-173)◎ 変断面円弧ばりを用いた橋床の剛性について
 信州大正吉田俊弥
 " " "〇三井康司
- (I-174)◎ 小形I形鋼を主部材にしたプレキャスト床版の実験的研究
 道路公団正荒川正一
 神戸製鋼所 "〇環河敏剛
- (I-175)◎ コンクリートサンドウイッチ鋼床版とその合成桁の実験的研究
 阪大正前田幸雄
 神戸製鋼所 "〇松井紫剛
- (I-176) 鉄筋コンクリート床版のたわみ解析
 阪市大正倉田宗章
 大阪市 "〇堀田田清美

5号館4階54番教室

10月1日(金)

個人発表(吊橋)
13.00~14.24

- (I-177)◎ ケーブル・スティッド・タワーの基礎的研究
 名大正福本 晴士
 川崎製鉄 "〇三好弘和
 道路公団 "〇小好正
- (I-178) 関門橋主塔の振動性状について
 道路公団正大橋昭義
 建土研 "〇榎田波田光幸裕
- (I-179)◎ 多径間吊橋の構造特性について
 北大正佐藤浩一
- (I-180) 有限変形を考慮した吊橋の最適解
 長大橋設計センター正〇林国安
 " " "〇下地憲和
- (I-181) エネルギー法によるケーブル構造の解析(第1報)
 神戸製鋼所正波田凱夫
 " " "〇新家中邦 徹汎
- (I-182)◎ ケーブルトラスの模型実験
 神戸製鋼所正波田凱夫
 " " "〇新家中邦 徹汎

(休憩 6分)

個人発表 (吊橋)
14.30~15.54

- (I-183) 吊材の伸びを考慮した吊橋の撓度理論について
長大橋設計センター 正青柳史 郎哲
" " " " ○大月
- (I-184) デュアルタイプ吊橋の力学的性状について
阪大 正小松定夫 去男嗣
" " " " ○西村井正
- (I-185) PCT の実橋への応用
九工大 正渡辺 明隆三
" " " " ○出山裕
日本PCT建設 " " " " ○本
- (I-186) 架設中の長径間吊橋の性状について
武蔵工大 正西脇 夫樹一
川田工業 " " " " ○木本
春本鉄工所 " " " " ○木
- (I-187) 吊橋架設時における不安定架構の大変形解析
宮地鉄工所 正和藤茂 茂忠武 夫治夫
" " " " ○前田
- (I-188) 無効材発生に対処するキャットウォークの解析
宮地鉄工所 正後藤村根 夫南朗
" " " " ○新羽

5号館4階54番教室
10月2日(土)

個人発表 (曲線橋)
9.00~10.38

- (I-189) 折板理論による曲線橋構造の解析について
北大 正荒沢 憲 吉仁
" " " " ○芳村
- (I-190) 任意形曲線橋の解析について
鹿島建設 正和田 忠昭 昭爾明
" " " " ○今成
- (I-191) 曲線格子について
信州大 正吉田 俊弥 弥郎
" " " " ○中西三
- (I-192) 連続曲線桁橋に関する一研究
鳥取大 正神部 俊一 一三
" " " " ○田中久
- (I-193) S字連続曲線格子桁橋の構造特性について
北大 正榎農 知 徳
- (I-194) クロノイド曲線桁の断面力特性 (第2報)
(円弧部材への近似)
北大 正渡辺 昇之 昇之
" " " " ○杉本博
- (I-195) 連続曲線高架橋の静的計算に適用したモデルの
動的試験による検討
福山C 正栗林 辰彦 彦明進
" " " " ○中藤 憲
" " " " 佐藤 藤

(休憩 7分)

個人発表 (桁橋)
10.45~12.09

- (I-196) 鋼格子床版合成桁の実験的研究 (第3報)
阪大 正前田 幸雄 雄一
神戸製鋼所 " " " " ○山田河田 敏
" " " " " " ○山
- (I-197) 波形軸線を有する連続合成桁について (II報)
阪工大 正赤尾 親助 助光
" " " " ○栗田 章

(I-198) 深梁の立体解析

本四公団 正多田 浩彦 彦憲
" " " " ○井根 勝公
大阪設計C " " " " 吉

(I-199) 連続鋼床版けた橋の有効幅に関する研究

阪市大 正中井 博男 博男
" " " " ○事口 寿

(I-200) 2-ボックス桁橋の応力分布 (第2報)

日大 正遠藤 篤康 康記
" " " " ○遠藤 藤下 藤

(I-201) 2-ボックス桁橋の実験による応力分布の研究 (第2報)

日大 正若下 藤記 記康
" " " " ○若下 藤

(休憩 51分)

個人発表 (設計)
13.00~14.24

(I-202) 橋梁設計とその構造形態について

日本建設C 正磯崎 正 晴薫
" " " " ○手塚 塚

(I-203) トラス部材の細長比に関する一考察 (第2報)

熊本大 正三池 亮次 次一
" " " " ○松本 弘

(I-204) Reliability of Redundant Systems

(不静定構造の信頼性解析)
ヴァージニア工大 正星谷 勝

(I-205) (欠番)

(I-206) 道路橋の疲労寿命の一推定法 (その2)

金沢大 正小堀 為雄 雄夫
" " " " ○小堀 塚
コロムビア大 " " " " 奥
金沢大 " " " " 学

(I-207) (欠番)

(休憩 6分)

個人発表 (設計法)
14.30~15.54

(I-208) 桁の最適設計についての一研究

川崎重工業 正国広 昌史 史一
京大 " " " " ○山田 善

(I-209) SLP, SUMT, GM の比較に関する研究

愛媛大 正大久保 禎二 二

(I-210) 鋼床板の最小重量設計について

大阪市 正近藤 和隆 夫夫
" " " " ○加藤 藤

(I-211) 鉄筋コンクリート鉄道高架橋の自動経済設計

信州大 正長藤 尚也 也吉
中央復建 " " " " ○近藤 藤
" " " " 岡

(I-212) 鉄道橋3主桁下路プレートガーダーの格子計算
による設計図表について

国鉄 竹名 興英 英

(I-213) PC橋梁工事におけるシステム設計について

鹿島建設 正和田 忠昭 昭武夫
" " " " ○和田 田
" " " " 森 隆

5号館4階54番教室
10月3日(日)

個人発表 (細部構造)
9.28~10.24

(I-214) 薄肉鋼ラーメン隅角部の曲げ特性

法政大 正山下 清明 明

(I-215)◎ 円筒断面柱と箱形断面横げたの接合部に関する実験

名 大 正 福 本 嗚
路 〇 〇 久 本 全
車 公 学 伊 井 全
〇 造 正 松 下 幸 正
〇 〇 〇 近 藤 正 幸 正

士 嗚 士
弘 全 弘
次 全 次
正 正 正
巳 巳 巳

(I-216)◎ 板桁端部切欠部の応力分布 (1)

首 正 小 村
都 〇 〇 矢 作
高 〇 〇 笹 川
速 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇

敏 村
枢 作
滋 川

(I-217)◎ 板桁端部切欠部の応力分布 (2)

首 正 加 藤
都 〇 〇 小 村
高 〇 〇 〇 正
速 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇

正 晴
敏 敏
高 高

(休憩 6 分)

個人発表 (継手)

10.30~11.54

(I-218) (欠番)

(I-219) 低強度溶接材料による高張力鋼溶接継手の力学的特性

日 本 鋼 管 正 〇 嶋 田 正
都 立 大 〇 〇 堀 川 浩 大
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

大 正
甫 浩

(I-220) 肌すきを有する摩擦接合の力学的性状について

神 戸 大 正 〇 西 村 昭
日 本 橋 梁 〇 〇 〇 小 野 精 一

昭 一

(I-221) 過大穴を有する摩擦接合の力学的性状について

神 戸 大 正 〇 西 村 昭
春 本 鉄 工 所 〇 〇 山 野 繁
宮 地 鉄 工 所 〇 〇 石 沢 成 夫

昭 行
夫 成

(I-222) 摩擦接合鋼板のすべり係数のバラツキについて

神 戸 大 正 〇 西 村 昭
大 〇 〇 〇 〇 藤 沢 政 夫

昭 夫

(I-223) プレキャストスラブ合成桁等の疲労実験

国 鉄 正 〇 阿 部 英 彦
〇 〇 〇 〇 〇 西 郷 勳 次
〇 〇 〇 〇 〇 江 口 保 平

彦 次
郎 平

(休憩 66 分)

個人発表 (実験・施工)

13.00~14.24

(I-224)◎ ダブルデッキ方式の立体ラーメン橋の載荷試験

神 戸 大 正 〇 西 村 昭
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 中 村 郎
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 島 田 勉
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 播 磨 〇 〇 〇 〇 〇 〇

昭 郎
郎 勉

(I-225) 高架橋の振動に起因する公害について

首 都 高 速 正 〇 木 下 忠 朋
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 友 友 秀
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 池 田 尚 治

忠 朋
尚 治

(I-226) 大正橋 (2 ヒンジ鋼アーチ橋) の撤去工事について

京 大 大 正 小 西 郎
大 阪 市 〇 〇 井 上 洋
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 種 俊
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 橋 梁 三 敏 司
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

郎 里
俊 司

(I-227)◎ 逆T形鋼桁に小形I形鋼をとりつけたプレハブ格子床版合成桁の施工についての考察

神 戸 製 鋼 所 正 〇 若 木 夫
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 敏
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 敏

夫 一
敏 敏

(I-228)◎ 道路橋コンクリート地覆部のプレファブ化について

名 本 大 正 〇 島 田 静 雄
日 本 車 輜 〇 〇 〇 坂 本 良 太
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 雄
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 雄

雄 太
雄 雄

(I-229) 橋面のヒーテングに関する基礎的実験調査について

東 北 地 建 正 〇 赤 津 武 男
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 忠
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 治
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 治

武 男
新 忠
吉 一

(休憩 6 分)

個人発表 (アーチ)

14.30~15.12

(I-230) 連続したアーチ系橋梁 (上路式) の一設計試案

滝 上 工 業 正 〇 安 藤 浩 吉
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 明
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 男

吉 明
男 竜

(I-231)◎ プレテンション補剛桁を有するアーチ橋について (第2報)

神 戸 製 鋼 所 正 〇 波 田 凱 夫
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 洋
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 洋

凱 夫
洋 洋

(I-232)◎ ランガーげたの二次応力について

東 海 大 正 〇 安 本 修 一
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 昭
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 昭

修 一
昭 昭

個人発表 (斜張橋)

15.12~16.08

(I-233) 静定系の斜張橋桁に関する2, 3の考察

阪 工 大 正 〇 赤 尾 親 助
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 哲 威

親 助
威 威

(I-234)◎ 斜張橋の立体解析

住 友 重 機 正 〇 落 合 重 俊
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 親 佑
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 男

重 俊
佑 男

(I-235)◎ 首都高速荒川斜張橋の振動実験

首 都 高 速 正 〇 矢 作 枢
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 平
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 昭
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 昭

枢 平
昭 昭

(I-236)◎ 斜張橋ケーブル碇着部の設計 (石狩河口橋)

道 開 発 局 正 〇 新 高 陽
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 陽

高 陽
陽 陽

第 II 部門 (水理学・水文学・河川工学・港湾工学・海岸工学・発電水力・衛生工学など)

4 号館地下 3 階 44 番教室
10 月 1 日 (金)

個人発表 (波動・碎波 1)
13.00~14.30

- (II-1) 内海における台風時の波浪推算について
東大正堀川清司
日本テトラポッド〇西村仁保
東大正大学宮本幸始
- (II-2) 不規則波自身による拡散について
東大正玉井信行
- (II-3) 超音波流速計による波の水粒子速度に関する実験
京大正土屋義人
〇山口正
- (II-4) 合成波の反射実験における二, 三の問題
京大正岩垣雄一
〇木村晃
- (II-5) 狭い湾口より浸入する円形湾内の波浪について
神戸大正杉本一夫
明石高専〇西村修益
- (II-6) 波峯位の度数分布曲線について
日大正久宝雅史
〇竹沢三雄
〇小池一臣

(休憩 10 分)

総括報告 (波動・碎波 2)
14.40~15.55

- (II-7) 水深変化による不規則波の変形について
京大正岩垣雄一
〇酒井哲一郎
- (II-8) 一様斜面上における周期波の変形に関する研究
日本国土開発正〇飯田安利
北大〇佐伯利浩
- (II-9) 二次波峯を構成する成分波の振幅に関する研究
名工大正石田昭
- (II-10) 流れを遡上する波の減衰率に関する実験
東北大正岩崎敏夫
〇佐藤道一郎
- (II-11) 碎波後の乱れについて
阪大正権木亨
〇岩田好一期

4 号館地下 3 階 44 番教室
10 月 2 日 (土)

個人発表 (湾内振動)
9.20~10.20

- (II-12) 長方形港湾泊地の不規則振動について
京大正岩垣雄一
〇村上仁士
- (II-13) 矩形湾の波高増幅率に関する研究
東北大正岩崎敏夫
日立造船大〇新板信勝
東北大大学板橋勝一郎
- (II-14) (欠番)

- (II-15) 高知湾における高潮の変形に関する模型実験
京大正土屋義人
〇中村重久
(休憩 10 分)

総括報告 (波の打上げ・越波)
10.30~12.00

- (II-16) 波のうちあげ高とブロックの大きさに関する考察
日大正〇久宝雅史
〇石黒久
- (II-17) 被災した土佐湾海岸堤防による打上げ高の検討
徳島大正三井宏
- (II-18) (欠番)
- (II-19) 有限振幅重複波の水面波形と越波量の相関特性
中部工大正高田彰
- (II-20) 孤立波の越波量に関する実験的研究
東亜港湾正橋爪俊明
北大〇佐伯浩
〇尾崎晃
- (II-21) 養浜の越波防止効果について
関西大正〇井上雅夫
〇菊岡一敏

(休憩 60 分)

個人発表 (波力および消波工 1)
13.00~13.15

- (II-22) 直立式消波岸壁について
北大正尾崎晃

総括報告 (波力および消波工 2)
13.15~14.15

- (II-23) 防波堤屈曲部付近の波高, 波圧分布に関する一実験
北海土試正〇鴻上雄三
〇藤上木原信泰
- (II-24) 透過性構造物による波の変形に関する研究 (2)
一鉛直捨石護岸からの反射率について
建土研正〇富永正照
〇坂本忠彦
- (II-25) 捨石堤背後への伝達波高について
阪工大正久保弘一
大阪高専〇上田伸保
阪工大〇井田三夫
- (II-26) 空気壁による防潮 (特に並列効果について)
坂出工高正横田一秋
(休憩 15 分)

総括報告 (波力および消波工 3)
14.30~15.45

- (II-27) 球形物体の抗力係数と質量係数について
琉球大正〇河野二夫
東工大〇吉川秀夫
- (II-28) 円柱に働く波力について
東工大正〇吉河川秀夫
琉球大設〇河野二夫
前田建〇河野二夫
- (II-29) 浮防波堤の保留に関する実験的考察
日井造大船大正久宝雅史
〇井造大船大〇久宝雅史
〇中久宝雅史

- (II-30)◎ 大型ポンツーンに関する研究
東洋大正本 間原 仁宏
" " " " 〇荻 国 宏
- (II-31)◎ 波高測定用浮きスタフに関する一提案
日大正久 宝藤 雅史
" " " " 〇遠 藤 茂 勝

4号館地下3階44番教室
10月3日(日)

個人発表(漂砂・海浜変形 1)
9.20~10.05

- (II-32) 振動流による底面摩擦係数の測定
建士研正橋本 宏
- (II-33) 小段上の砂の移動についての実験
都立大正〇堀田 新太郎
熊谷組 仲 正 博
- (II-34)◎ 海浜流観測用気球カメラ・システムの開発
東大正堀川 清司
" " " " 佐々木 民 雄
アイ・エヌ・エ " 五十嵐 元三
一新土木研究所 " 〇鬼頭 平三
東大正学〇

(休憩 10分)

総括報告(漂砂・海浜変形 2)
10.15~12.00

- (II-35) 砕波後の波による底質移動に関する研究(1)
北見工大正〇佐藤 幸雄
" " " " 内 島 邦 秀
- (II-36) 進行波による底質の浮遊について
鳥取大正〇野田 英明
" " " " 岩 佐 敏 博
- (II-37) 大潟海岸における浮遊漂砂の観測結果について
京大正土屋 義人夫
" " " " 〇芝野 照 夫
- (II-38) 漂砂模型実験の縮尺効果について
農士試正中村 充雄
" " " " 〇佐々木 泰 雄
- (II-39) 実験計画法による海浜変形の研究一汀線付近の
水平方向の変動について
名城大正青木 保雄
" " " " 〇伊藤 政 博
- (II-40) 富山県宮崎漁港の漂砂に関する研究(2)一來襲
波浪と港内の埋没について一
京西大正〇土屋 義人夫
" " " " 〇山崎 正 照
京大 " " 山口 敏 夫
" " " " 芝野 照 夫
関西大 " " 菊 岡 敏 夫
- (II-41) 常盤海岸の沿岸漂砂に関する一研究
東北大正岩崎 敏夫
" " " " 〇長松 谷 本 直 光
" " " " 学 松 本 直 光

(休憩 60分)

総括報告(河口閉塞)
13.00~14.00

- (II-42) 河口砂洲の安定断面について
阪大正榎木 亨
- (II-43) 漂砂海岸における河口閉塞防止対策について
岩手大正〇安藤 昭晃
" " " " 北 大 〇尾崎 晃 一
- (II-44) 全国河口閉そく状況の実態と二、三の考察
建士研正須賀 亮三
" " " " 〇高 橋 圭 隆

- (II-45) 利根川河口特性に関する二、三の考察
建士研正須賀 亮三
" " " " 〇浜 谷 武 治
- (休憩 10分)

個人発表(密度流 1)
14.10~14.40

- (II-46)◎ 湾内における廃水拡散の予測について
電研正和野 明
" " " " 〇片 尚 明
- (II-47)◎ 感潮水域における淡水採取法の一例
日本開発C正森 本辰雄

総括報告(密度流 2)
14.40~16.25

- (II-48) 淡塩二層流界面における内部波の発達に関する
研究
東北大正岩崎 敏夫
三菱重工 "〇日 下 理 夫
- (II-49) 淡塩二層界面での内部ジャンプの実験的研究
東北大正岩崎 敏夫
東北学院大 "〇上 原 忠 保
- (II-50) 淡塩二層流における物体背後の内部波に関する
一実験
東北工大正阿部 至雄
" " " " 〇今 野 弘 夫
- (II-51) 塩水くさびに関する大型水路実験による二、三
の考察
建士研正須賀 亮三
" " " " 〇高 橋 圭 隆
- (II-52) 二成層流からの横方向取水について
京大正岩佐 義朗人
" " " " 〇野 口 正 人
- (II-53) 密度差をとまなう横拡散に関する実験
京大正八束 正司夫
- (II-54) 浮上プルームの海城拡散
中央大正〇林 泰造
" " " " 〇今 井 俊 夫
千葉県 " " 小 泉 俊 夫

4号館地下3階43番教室
10月1日(金)

個人発表(計測・調査)
13.00~14.15

- (II-55) 超音波による河川流速測定の実用化(その2)
建士研正木下 武雄
- (II-56)◎ 塩水速度法による河川水塊流速速度の測定
北大正柏村 正和
- (II-57)◎ 土砂による濁水中の超音波減衰特性
東工大正奥島 基良
" " " " 〇大 槻 茂 三
" " " " 〇山 沢 潤 三
- (II-58) 掃流砂量の計測法に関する研究
京大正矢野 正男
" " " " 〇高 橋 保 規
" " " " 〇高 橋 上 正
- (II-59) アーミング効果を考慮に入れた河床材料調査
とその解析
建士研正土屋 昭彦
" " " " 〇山 本 晃 一

(休憩 10分)

総括報告(土砂輸送)
14.25~15.55

- (II-60) 土砂の集合運搬に関する二、三の実験
日 大 正 木 村 喜代治
" " " " 〇高橋 夫
" " " " 久 夫
- (II-61) 非平衡状態における掃流土砂輸送について
東 工 大 正 吉 川 秀 夫
" " " " 〇福 二
" " " " 学 〇吉 本 春
- (II-62)⑤ 移動床付近の渦流について
神 戸 大 正 〇 箕 藤 源 亮
" " " " 学 工 藤 明 彦
- (II-63) 混合砂礫の移動限界について
京 大 正 芦 田 和 男
" " " " 〇道 上 規
" " " " 学 江 頭 二 治
- (II-64) 微細粒子の浮遊砂に及ぼす影響について
京 大 正 〇道 上 正 規
" " " " 学 田 中 健 二
- (II-65) 流砂量の計算と検討
武 蔵 工 大 正 王 方 一

4 号館地下 3 階 43 番教室
10 月 2 日 (土)

総括報告 (河床変動)
9.05~10.50

- (II-66) Sand ripple の密度とスケールについて
防 衛 大 正 眞 嶋 恭 雄
" " " " 〇宮 武 順 幸 造
- (II-67) Sand wave の発生機構について
電 研 正 白 砂 孝 夫
- (II-68) 砂礫堆の形成について
九 大 正 橋 東 一 郎
" " " " 〇渡 辺 訓 甫
日本 工 営 " 定 村 文
- (II-69) 直線河道における砂礫堆の形成に関する考察
早 大 正 銚 川 登
- (II-70) 浮流を考慮した砂河床の不安定解析
東 北 大 正 〇三 王 英 寿
" " " " 〇坂 本 龍 雄
- (II-71) 分級作用を伴う河床変動 (第2報)
九 大 正 平 野 宗 夫
- (II-72) 移動床水路の抵抗則に関する研究
京 舞 鶴 高 専 正 芦 田 和 男
京 舞 鶴 大 学 木 村 中 昌 祐 朗 弘

(休憩 10 分)

総括報告 (河道形態)
11.00~12.00

- (II-73) 流路の変動機構に関する研究
京 大 正 〇村 本 嘉 雄
" " " " 学 田 藤 中 田 裕 一郎
- (II-74) 自然河川における卓越蛇行長と水理量の関係
北 大 正 〇山 岡 勲
" " " " 〇長 谷 川 義 孝
道 庁 " 田 畑 好
- (II-75) 蛇行の発達に関する二、三の実験的考察
建 土 研 正 須 賀 堯 三 夫
" " " " 〇林 敏 夫
- (II-76) 砂防ダムの堆砂こう配に関する研究
徳 島 大 正 杉 尾 捨 三 郎
" " " " 〇佐々木 英 治

(休憩 60 分)

個人発表 (水路の抵抗則)
13.00~13.30

- (II-77) 長方形開水路の流れに関する一近似計算
日 大 正 木 村 喜代治
- (II-78) 水路の粗度と摩擦損失水頭についての実験的研究
関 東 学 院 大 正 野 田 文 彦

総括報告 (乱流)
13.30~14.30

- (II-79) 河川の乱れと流速測定
建 土 研 正 〇土 屋 昭 彦
" " " " 〇馬 場 洋 二
" " " " 〇矢ヶ崎 恒 夫
- (II-80) 濃尾用水における乱れ計測について (第2報)
京 大 正 今 本 博 健
" " " " 〇上 野 鉄 男
- (II-81) 開水路流れにおける乱れの相似性について (第3報)
京 大 正 今 本 博 健
- (II-82)⑤ 粗面水路上の波の乱流構造
東 工 大 正 〇日 野 幹 雄
農 土 試 大 西 亮 一

(休憩 10 分)

個人発表 (噴流 1)
14.40~15.10

- (II-83)⑤ 流水中での放流水脈の挙動について (その2)
埼 玉 大 正 嶋 祐 之
- (II-84) 自由落下水の突入する水路における空気混入
東 北 大 正 〇坂 本 龍 雄
" " " " 学 村 上 和 男

総括報告 (噴流 2)
15.10~15.55

- (II-85) 密度差を伴う水平噴流について
九 大 正 橋 東 一 郎
" " " " 〇小 松 利 光
- (II-86) 気泡噴流による2層流の混合について (II)
九 大 正 栗 谷 陽 一 則
" " " " 〇北 野 義 夫
- (II-87) 静水池における二つの垂直噴流の相互干渉について
北 大 正 〇長 谷 川 和 義
日 本 工 営 " 盛 山 岡 信 博 勲

4 号館地下 3 階 43 番教室
10 月 3 日 (日)

個人発表 (局所流 1)
9.00~10.15

- (II-88)⑤ 河川の合流に関する基礎的研究
東 洋 大 正 本 間 仁
" " " " 〇福 井 原 吉 国 宏 孝
- (II-89) 河川合流点における流れの機構の研究
北 神 奈 川 大 正 〇板 倉 忠 興
" " " " 〇須 藤 靖 彦
- (II-90) 水路縮小部の流れについて (II)
愛 知 県 正 〇山 口 皓 三
名 工 大 " 〇細 井 正 延
- (II-91) 放物断面をもつ湾曲流れの実験
神 戸 大 正 松 梨 順 三 郎
兵 庫 県 " 〇藤 岡 隆 三 義
日 本 国 土 開 発 " 小 谷 安 蔵

- (II-92) 円形水路における自由流出口付近の流れについて(2)
日 大正 栗津 清 蔵勉
" " " " " "
(休憩 5分)

総括報告(局所流 2)
10.20~12.05

- (II-93) 断面急拡大部における開水路流れの研究
秋田 大正 石井 千万太郎
- (II-94) わん曲部護岸の水理機能に関する二、三の実験的考察
建土研 正〇須賀 虎 三三
" " " " " "
- (II-95) 河川弯曲部の歪模型実験の問題点について
建土研 正〇馬場 洋 二三
" " " " " "
- (II-96) 弯曲流中の物質分散
東工大 大正 福岡 捷 二
- (II-97) 跳水の水面変動について
建土研 正 田村 正 秀
- (II-98) 台形水路の潜り跳水について
日 大正 栗津 清 蔵勉
" " " " " "
- (II-99) 管路内跳水に関する基礎的研究
京 大 正 中 川 博 次久
" " 学〇 祐 津 家 久
(休憩 55分)

総括報告(局所流 3)
13.00~14.45

- (II-100) 流出渦に関する研究(統報)
山梨 大正 萩原 能 男二
" " 学〇 安 田 榮 二
- (II-101) 鉛直刃形水門の縮流係数における縮尺効果と水路幅の影響について
広島 大正 名合 宏 之
- (II-102) 潜り堰下流部の流れについて
九 大 正 上 田 年比古
" " " " 〇 堇 口 英 昭
- (II-103) 橋脚前面の流れの解析
京 大 正 宇 民 正
- (II-104) 円柱橋脚周辺の流れの特性
京 大 正 中 川 博 次一
" " " " 〇 鈴 木 幸 一
- (II-105) 橋脚の洗掘防止の一方法
東工大 大正 吉川 秀 夫二貴
" " " " " 〇 福 岡 久 貴
- (II-106) 橋脚の囲りの洗掘について(第2報)
日 大正 栗津 清 蔵勉
" " " " " "
" " " " " "
(休憩 10分)

個人発表(定流・不定流)
15.55~17.10

- (II-107) 開水路で見い出された二次流に関する実験
北 大正 〇森 明 巨
" " " " 木 幹 男力
" " " " 岸 木
- (II-108) 開水路における内部境界層の発達機構
東工大 大正 吉川 秀 夫二建
" " " " " 〇 福 岡 捷 建
日本テトラポッド " " " " 〇 前 田 建
- (II-109) 粘性振動における減衰性に関する研究
都立 大 正 安 川 浩 宏
" " 学〇 田 川 昌 宏

- (II-110) 水撃圧の負圧について(第三報)
山梨 大正 萩原 能 男
" " " " 藤 原 憲 吾
" " 学〇 近 藤 文 夫
- (II-111) 河川水位計の応答、消波に関する実験
建設技研 正 林 港
" " " " 〇 渡 原 榮 次
東 洋 大 " " 萩 原 国 宏

4号館地下2階 42番教室
10月1日(金)

個人発表(流出 1)
13.00~14.15

- (II-112) 過去に大洪水をもたらした降雨の特性
建土研 正 青 木 佑 久
- (II-113) 単位図法による荒川上流流域の流出解析
東 洋 大 正 本 萩 仁
" " " " 〇 上 間 国
新 鴻 泉 " 〇 萩 原 宏
東 洋 大 " " 福 原 吉 孝
- (II-114) 遊水モデルによる洪水流出の解析
都立 大正 丸 井 信 雄
- (II-115) 流出系の lumped scale について
京 大 正 高 棹 琢 馬
- (II-116) 微小流域とこれをを含む大流域ならびに同水系内の近接する大流域における洪水流出の比較(主として洪水流出率と総損失雨量の面から)
新 鴻 大 正 岡 本 芳 美
(休憩 10分)

総括報告(流出 2)
14.25~15.55

- (II-117) 雨水流出シミュレーションの基礎に関する実験的研究
京 " 大 正 石 原 安 雄一
" " " " 〇 下 島 榮 一
- (II-118) 流出現象の水理学的モデルの検討
東 工 大 正 吉 川 秀 夫二明
" " " " " 〇 宇 多 高 明
- (II-119) 流出系における流量低減特性の平均化過程について
名 大 正 〇高 木 不 折
建 設 省 " 〇太 田 静 男
名 " " " 学 大 吉 岡 博 明
- (II-120) 降雨変動の流出に及ぼす影響
東 工 大 正 日 野 幹 雄 積
" " " " " 〇 前 田 穂 積
- (II-121) 降雨終了後の流出について
広島 大 正 金 丸 昭 治
" " " " " 〇 三 島 隆 明
- (II-122) 有効降雨の合理的算定法とその基本高水決定への応用
京 大 正 石 原 藤 次 郎
" " " " 〇 田 中 雄 作

4号館地下2階 42番教室
10月2日(土)

個人発表(流出 3)
9.20~10.05

- (II-123) 統計的単位図法の改良とその淀川流域への適用
京 大 正 高 池 馬 一
" " " " 学〇 古 池 周 整
" " " " " 〇 葛 川 一 治

- (II-124)◎ 表面流についての現地実験とその解析
 建 士 研 正 木 下 武 雄
 " " " " 〇 橋 原 重 昭
 健 橋 本 健
- (II-125) 不規則断面河道の洪水流 (2)
 京 大 正 高 橋 保
 (休憩 10 分)

総括報告 (流出 4)
10.15~12.00

- (II-126) 松戸市坂川の流出について
 日 " 大 正 三 浦 晃
 " " " 〇 西 川 肇
- (II-127) 初期融雪流出の解析について
 北 " 大 正 藤 田 陸 博
 " " " 〇 加 島 哲 雄
- (II-128) 融雪出水に関する研究
 金 沢 大 正 〇 高 瀬 信 忠
 大 阪 府 " 〇 野 村 継 男
- (II-129) Rational 式による流出量算出法の一提案
 千 葉 工 大 正 島 正 之
 水 工 C " 〇 三 間 秀 樹
- (II-130) (欠番)
- (II-131) 市街地域の雨水流出特性
 京 " 大 正 〇 角 屋 睦 隆
 " " " 〇 岡 太 郎
- (II-132) 荒川試験地における水収支について
 京 " 大 正 石 原 安 雄
 " " " 〇 小 葉 竹 重 機
- (休憩 60 分)

個人発表 (水文統計・計画 1)
13.00~14.00

- (II-133) 確率水文学の推定に関する基本問題
 中 央 大 正 春 日 屋 伸 昌
- (II-134)◎ 二変数ガンマ分布の母数推定法
 京 " 大 正 〇 長 尾 正 志
 " " " " 〇 角 屋 睦 隆
- (II-135)◎ 二変数指数分布の母数推定に関する 2, 3 の数
 値実験的検討
 京 " 大 正 〇 長 尾 正 志
 建 士 研 " " 〇 角 屋 睦 隆
 " " " " 〇 白 波 瀬 道 正
- (II-136) 利水計画における限界供給量決定の一手法
 京 " 大 正 石 原 藤 次 郎
 " " " 〇 池 周 高 一 司
 " " 学 八 木 高 司
- (休憩 10 分)

総括報告 (水文統計・計画 2)
14.10~15.55

- (II-137) 降雨特性に関する情報論的考察
 九 大 正 篠 原 謹 爾
 清 水 建 大 " 〇 高 崎 田 英 末 邦 寛
 九 " 学 〇 迫 田 未 末 寛
- (II-138) 雨量の時間配分に関する統計則の研究
 京 " 大 正 石 原 安 雄
 " " " " 〇 友 杉 邦 雄
- (II-139) グループ主軸法による月降水量の相関分析につ
 いて
 北 フジタ工業 正 〇 星 木 哲 清 郎
- (II-140) 起伏比のスペクトル解析
 岐 阜 大 正 増 田 村 重 臣
 " " " " 〇 久 保 田 河 村 三 郎
 " " " " 〇 久 保 田 河 村 三 郎

- (II-141)◎ 近畿圏における月雨量資料の因子分析
 阪 " 大 正 室 田 明 治
 " " " 〇 江 田 剛 剛
 " " " " 〇 藤 中 剛 剛
- (II-142) 欠測降雨の補間法について
 徳 島 大 正 端 野 道 夫
 " " " 〇 吉 一 田 道 寛
 " " " " 〇 藤 中 剛 剛
- (II-143) 貯水池による水供給の信頼性 (第2報)
 阪 " 大 正 〇 室 田 明 徹
 " " " " 〇 室 田 明 徹

4 号館地下 2 階 42 番教室
10 月 3 日 (日)

個人発表 (水文統計・計画 3)
9.30~10.45

- (II-144) 貯水池調節機能の検討
 東 工 大 正 〇 四 俣 正 俊
 " " " " 〇 吉 川 秀 夫
- (II-145) DP 利用によるダム貯水池の洪水調節方式につ
 いて
 京 大 正 高 榎 馬
 九 州 地 建 " 〇 横 田 稜 二
- (II-146) 北上川電算システムにおける治水統合管理につ
 いて
 東 北 地 建 正 〇 斎 藤 正 勝
 " " " " 〇 川 上 隆 隆
- (II-147) 雄物川における旬流量時系列の解析について
 秋 田 高 専 正 長 谷 部 正 彦
 秋 田 大 学 " 〇 中 村 英 一
- (II-148) 利根川治水理念の考察 (その 1)
 東 " 大 正 高 橋 裕 孝
 " " " " 〇 大 熊 裕 孝
- (休憩 15 分)

個人発表 (水文統計・計画 4)
11.00~12.00

- (II-149) はららんによる被害波及過程の計量化について
 京 " 大 正 石 原 藤 次 郎
 " " " " 〇 荒 川 義 次 郎
 福 岡 県 " 〇 山 中 美 敦
- (II-150) 中小河川災害に関する一考察—加茂川水害の場
 合—
 東 " 大 正 高 橋 裕 忠
 " " " " 〇 宮 村 裕 忠
- (II-151)◎ 都市河川の機能について
 東 京 都 正 山 本 弥 四 郎
 建 設 技 研 " 〇 石 井 弓 夫
- (II-152) 行列表示によるパイプラインの流量計算法について
 京 " 大 正 岩 佐 義 朗
 道 路 公 団 " 〇 常 松 芳 昭
 " " " " 〇 飯 田 章 夫
- (休憩 60 分)

総括報告 (浸透流 1)
13.00~14.00

- (II-153) 粗粒子層の透水に関する研究 (第 1 報) —理論
 的考察と実験方法について
 日 " 大 正 安 田 禎 輔
 " " " " 〇 藤 田 龍 之
- (II-154) 粗粒子層の透水に関する研究 (第 2 報) —透水
 現象の分類と実験式—
 日 " 大 正 〇 安 田 禎 輔
 " " " " 〇 藤 田 龍 之
- (II-155)◎ 自由水面を有する浸透流の三次元解析法の適用
 例とその考察
 京 大 正 岡 太 郎

(II-156) 地下水流の浸透機構について (最終報)
大阪府立高専 正 佐 藤 邦 明

個人発表 (浸透流 2)
14.00~14.45

(II-157) 外水位変化に伴う堤防浸透水の挙動に関する
実験とその考察
名 大 正 西 畑 勇 夫

(II-158) (欠番)

(II-159) 淡水注入による河口貯水池の塩水しゃ断
九州産大 正 崎 山 正 常 敏
" " 青 柳 正 敏

(休憩 10 分)

総括報告 (地下密度流)
14.55~15.55

(II-160) 河川水と浅層地下水の応答
徳 島 大 正 尾 島 勝 喜
京 " 清 水 正 喜

(II-161) 淡水二層地盤内の海水取水円形暗きょによる淡
塩境界面
九 大 正 上 田 年 比 古 哲
" " 〇 杉 尾

(II-162) 塩水汲み上げによる河口貯水池地盤の淡塩境界
面の低下
九州産大 正 崎 山 正 常 敏
" " 〇 青 柳 正 敏

(II-163) 円形暗きょにより淡水を注入した場合の淡塩
境界面の解析
九 大 正 上 田 年 比 古 哲 二
" " 学 〇 神 野 健 二

4 号館地下 2 階 41 番教室
10 月 1 日 (金)

個人発表 (活性汚泥 1)
13.00~13.40

(II-164) 気泡エアレーションにおける端効果について
日 大 正 中 村 玄 正

(II-165) 活性汚泥法の浄化特性について
京 大 正 合 田 健 功 洋
" " 学 〇 津 野 野 健 功 洋

(II-166) 活性汚泥の吸着現象について
東 北 大 正 松 本 順 一 郎 明 孝
東 北 工 大 " 大 学 〇 江 成 敬 次 郎

総括報告 (活性汚泥 2)
13.40~15.00

(II-167) K_L・A に関する 2, 3 の実験
東 大 正 松 尾 友 矩

(II-168) 表面附近における乱れ特性と表面曝気速度につ
いて (II)
九 大 正 栗 谷 陽 一 喬
" " 学 〇 安 部

(II-169) エアレーションタンク内の DO 濃度の変動に
ついて
建 土 研 正 〇 安 中 徳 二 也
" " 及 川 直 也

(II-170) 活性汚泥の酸素摂取挙動について (その 2)
一基質除去量と酸素摂取量について一
北 大 学 加 藤 善 盛 壯
住 友 重 機 正 〇 松 並

(II-171) エアレーションタンク内の活性度について
建 土 研 正 〇 小 堀 和 夫 明
" " 岡 沢 和 夫 明

(II-172) (欠番)

九 大 正 栗 谷 陽 一 義
" " 学 〇 山 崎 惟 義
(休憩 5 分)

個人発表 (下水道計画)
15.05~15.55

(II-173) 下水道管きょ計画における設計因子の連関分析
京 大 正 末 石 富 太 郎 淳 透
" " 学 〇 山 田 本 淳 透
" " 学 〇 橋 本 淳 透

(II-174) 市街地雨水流出特性に関する研究
東 北 大 正 松 本 順 一 郎 明 孝
東 北 工 大 " 大 学 〇 大 沼 田 正 善 則
木 更 津 高 専 " 〇 本 沼 田 正 善 則

(II-175) 降雨・流出に関する水理模型について
鳥 取 大 正 〇 寺 西 靖 治 典
" " 学 村 瀬 義 典

(II-176) 新東京国際空港の雨水排水について
新 東 京 国 際 空 港 正 保 科 繁

4 号館地下 2 階 41 番教室
10 月 2 日 (土)

個人発表 (上水 1)
9.00~10.30

(II-177) 送・配水管系の経済的管径決定法
北 大 正 高 桑 哲 男

(II-178) 懸濁物質の陽イオン交換容量と凝集剤注入量と
の関係について (第二報)
国 立 公 衆 衛 生 院 正 中 村 文 雄

(II-179) モデルブロックによるブロック構造の検討
北 大 正 丹 保 憲 仁 公
" " 学 〇 渡 辺 義 仁 公

(II-180) 河川水中有機物質の分級と対応する処理方法に
ついて
北 大 正 丹 保 憲 仁 翼 一 郎
" " 学 〇 川 村 耕 一 郎

(II-181) 分子分画を手法とした凝集、吸着特性とその負
荷配分
北 大 正 丹 保 憲 仁 翼 一 郎
" " 学 〇 亀 田 保 中 透 一 郎

(II-182) 矩形沈澱池の動特性解析について
京 大 正 高 松 武 一 郎 明 孝
" " 学 〇 内 藤 正 定 孝
" " 学 〇 芝 藤 正 定 孝

(II-183) 沈澱池における短絡流の挙動とその安定性に
ついて
京 大 正 末 石 富 太 郎 恒 樹
" " 学 〇 横 山 繁 樹
(休憩 5 分)

個人発表 (上水 2)
10.35~11.15

(II-184) 再浮上を考慮した短型沈澱池の除去効率について
京 大 正 内 藤 正 定 明 孝 世
" " 学 〇 芝 田 正 定 明 孝 世
" " 学 〇 上 田 正 定 明 孝 世

(II-185) ろ層内固液分離現象
近 畿 大 正 〇 篠 原 紀 力
" " 学 〇 網 谷 紀 力

(II-186) 高速砂ろ過に関する実験的研究
北 見 工 大 正 海 老 江 邦 雄

個人発表 (三次処理 1)
11.15~12.05

- (II-187) ⑤ 下水再利用に関する研究 (鉄ブロックを利用した下水の高度処理)
 栗田工業 正○向井 常雄
 " " " 北山 亮光
 " " " 栗 山 光
- (II-188) ⑤ 凝集沈殿と粒状活性炭吸着による下水処理水の用水化
 北 大 正 丹 保 憲 仁
 " " " 学 亀 井 翼
 " " " ○ 田 中 透
- (II-189) ⑤ 上水処理過程におけるカドミウムの挙動について
 金 沢 大 学 ○ 塚 本 勝 典
 " " " 正 寺 島 泰
- (II-190) ⑤ 水溶液中の重金属の除去に関する基礎的研究
 山 形 県 正 ○ 堀 岡 正 和
 " " " ○ 後 藤 武 志
 " " " 渡 邊 恭 秀 一 弥

(休憩 55 分)

個人発表 (三次処理 2)
 13.00~13.40

- (II-191) ⑤ オゾンならびにゼオライト処理
 東 北 大 正 ○ 佐 藤 敦 久
 " " " 八 木 美 雄
- (II-192) ⑤ 逆浸透圧法による汚水の高度処理に関する研究 (第2報)
 京 大 正 岩 井 重 久
 " " " ○ 北 尾 高 嶺
 " " " ○ 菅 原 正 孝
 " " " 長 尾 正 悟
- (II-193) ⑤ マンガン塊による水溶液中のマンガン・鉄の除去
 山 形 県 正 ○ 堀 岡 正 和
 " " " ○ 保 大 圭 弘
 " " " 長 谷 川 弘

個人発表 (水質汚濁 1)
 13.40~15.00

- (II-194) ⑤ 低水時の河川水質特性に関する考察
 京 大 正 末 石 富 太 郎
 " " " 学 ○ 鈴 友 恒 恒
 " " " 木 俊 郎
- (II-195) ⑤ 有機性底質汚泥の流送特性に関する実験的研究
 阪 大 正 ○ 村 岡 浩 爾
 " " " 学 ○ 赤 井 井 也 文
 " " " 大 木 博
- (II-196) ⑤ 河床汚泥の成分と酸素吸収速度
 建 土 研 正 柏 谷 衛
 " " " 学 ○ 村 村 上 健
 " " " ○ 湯 浅 吾
- (II-197) ⑤ 河川における水質伝播におよぼす流況特性の影響について
 京 大 正 末 石 富 太 郎
 " " " " 友 友 恒 恒
 " " " ○ 和 田 安 彦
- (II-198) ⑤ 水質基準監視地点からみた河川水質の変動について
 道 公 害 研 正 伊 藤 英 司
- (II-199) ⑤ 緩混合型の感潮河川における汚濁の解析 (その1)
 京 大 正 末 石 富 太 郎
 " " " " 住 友 恒 恒
 東 京 都 ○ 古 井 戸 良 隆
 公衆衛生院 " 南 部 一 彦

(休憩 5 分)

個人発表 (水質汚濁 2)
 15.05~15.45

- (II-200) ⑤ 緩混合型の感潮河川における汚濁の解析 (その2)
 京 大 正 末 石 富 太 郎
 " " " " 住 友 恒 恒
 " " " ○ 伊 藤 憲 一

- (II-201) ⑤ 海岸へ放出される温排水の拡散について
 京 大 正 井 上 頼 輝
 " " " 学 ○ 多 野 東 邦 臣
 " " " " 許 田 福
- (II-202) ⑤ 瀬戸内海々域の汚濁負荷量に関する一考察
 国立公衆衛生院 正 南 部 祥 一
 " " " " ○ 真 柄 泰 基

4 号館地下 2 階 41 番教室
 10 月 3 日 (日)

個人発表 (汚泥)
 9.00~10.30

- (II-203) ⑤ 汚泥の管路流動に関する基礎的実験
 東 大 正 ○ 大 垣 真 一 郎
 " " " 松 尾 友 矩
- (II-204) ⑤ 汚泥の重金属量測定法について
 東 大 学 山 岸 昂 夫
- (II-205) ⑤ 汚泥消化におよぼす重金属塩の衝撃負荷の影響について
 東 北 大 正 ○ 松 本 池 順 一 郎
 " " " " 達 友 也
- (II-206) ⑤ 下水汚泥の熱処理および加圧脱水について
 東 北 大 正 松 本 順 一 郎
 東 北 工 大 " ○ 大 沼 正 郎
- (II-207) ⑤ スラッジの熱処理・脱水プロセスの最適化に関する研究 (第2報)
 京 大 正 平 岡 正 勝
 " " " " 橋 高 内 政 彦
 京 庫 大 " ○ 村 富 上 田 弘 幸 次
 " " " 学 " 山 下 重 昭
- (II-208) ⑤ スラッジの焼結機構に関する基礎的研究
 京 大 正 平 岡 正 勝
 兵 庫 大 " ○ 高 長 谷 川 内 政 彦 明
- (II-209) ⑤ 高含水スラッジの着火と燃焼に関する研究 (その1)
 京 大 正 岩 井 山 重 久
 日 立 造 船 大 学 ○ 浦 浦 山 辺 真 郎
 京 日 京

(休憩 5 分)

個人発表 (都市・産業廃棄物)
 10.35~12.05

- (II-210) ⑤ 廃棄物の流動を指標とした環境計画の研究 II
 京 大 正 末 石 富 太 郎
 " " " 学 ○ 盛 沢 岡 井 通 徹
- (II-211) ⑤ 廃棄物の将来量の予測についての1つの試み
 京 大 正 岩 井 山 重 久
 日 立 造 船 大 学 ○ 入 春 山 江 登 志 男
- (II-212) ⑤ プラスチックを含む都市ごみの燃焼特性
 京 大 正 岩 井 山 重 久
 日 立 造 船 大 学 ○ 城 春 山 博 昭
- (II-213) ⑤ 焼却あるいは圧縮処理した固形廃棄物の性質について
 三井共同建設 C 正 前 田 慶 之 助
 " " " " ○ 斎 藤 征 一
- (II-214) ⑤ 大型ごみ模型槽による安定化の実験的研究
 福 岡 大 正 ○ 花 島 正 孝
 " " " " 林 松 田 千 鶴
 " " " " 松 下 康 枝
 " " " " 岩 鬼 下 木 彰 寛

(II-215)◎ ごみ埋立場(湿式埋立)の実態調査

福岡大 正○花林 島田 正 孝
" " " " 藤 千 枝
" " " " 下 康 司
福岡市 " " 岩 井 重 久
" " " " 益 田 光 絃

(II-216)◎ ごみ焼却灰の測定法に関する研究

京大 正○岩 井 重 久
" " " " 益 田 光 絃
田熊汽伍 " " 益 田 光 絃

(休憩 55 分)

個人発表(廃水)

13.00~14.45

(II-217)◎ BOD 試験に関する研究(第一報)

東大 正 市川 新子
" " " " 横 山 道

(II-218)◎ 水産加工排水に関する実態調査

東北学院大 正○長谷川 信 夫
東北工大 " " 大 沼 正 郎

(II-219)◎ フローテーション法による染色工場廃水の処理

京大 正 筒井 尊男
" " " " 古屋 仲 天 芳 龍
日本水工設計 " " 山本 慶

(II-220)◎ フッ素電解法による産業廃水の処理—パルプ廃液その他(砂利洗浄液等)の処理

日都立大 正 金 井 昌 邦
" " " " 高 専 三 森 彦
" " " " " " 大 三 宣
" " " " " " 学 三 明
" " " " " " 東 三 章
" " " " " " 橋 広 享

(II-221)◎ 弗素電解による産業廃水の処理—染料廃液の廃液処理—

日 大 正 金 井 昌 邦
" " " " " " 坪 保 学 夫
" " " " " " 学 保 増 久
" " " " " " 学 増 善 信

(II-222)◎ 弗素電解による産業廃水の処理—フェノールの処理に関する考察—

日都立大 正 金 井 昌 邦
" " " " " " 高 専 三 森 彦
" " " " " " 日 大 藤 原 宣
" " " " " " " " 学 藤 原 俊
" " " " " " " " 学 藤 原 史

(II-223)◎ 弗素電解法による産業廃水の処理—蓄産及び合油廃液等の処理に関して

日都立大 正 金 井 昌 邦
" " " " " " 高 専 三 森 彦
" " " " " " " " 学 大 真 宣
" " " " " " " " " " 学 真 中 伸
" " " " " " " " " " 学 中 鳥 正 行
" " " " " " " " " " 学 鳥 居 正 明

(II-224)◎ 弗素電解法による産業廃水の処理—水銀, クロム, カドニウム等の処理に関して—

日 大 正 金 井 昌 邦
" " " " " " " " 坪 岸 学 治
" " " " " " " " 学 岸 青 勸
" " " " " " " " " " 学 青 黒 木 則
" " " " " " " " " " 学 黒 坂 勇

(休憩 5 分)

個人発表(放射性廃棄物)

14.50~16.35

(II-225)◎ ⁶⁰Co の地下水中での移動(II)

京大 正 筒井 天 尊
" " " " " " 西 牧 研 壮

(II-226)◎ 放射性イオンの帯水砂層における吸着について

京大 正 福 井 正 美

(II-227)◎ 地下帯水層における放射性核種の挙動

京大 正 井上 頼 輝
" " " " " " 学 森 沢 真 輔

(II-228)◎ 地下通気層における放射性核種の挙動について

京大 正 井上 頼 輝
" " " " " " 学 赤 木 文 行

(II-229)◎ 円柱状, 直方体状多孔体内からの拡散溶出について

金沢大 正 寺島 泰 茂
清水建設 " " 正 寺 島 泰 茂

(II-230)◎ 放射性廃棄物地中処分に関する一試算

京大 正 井上 頼 輝
" " " " " " 学 井 森 沢 真 輔

(II-231)◎ 水産生物による放射性物質の濃縮過程—その確率論的考察—

京大 正 井上 頼 輝
" " " " " " 学 井 吉 山 勲 進
東京電力 " " " " 吉 川 進

(II-232)◎ 水圏生態系における食物連鎖による放射能汚染の推定と評価

京大 正 井上 頼 輝
" " " " " " 学 青 吉 山 勲 進
東京電力 " " " " 大 井 川 面 光

個人発表(大気汚染・騒音)

16.35~17.25

(II-233)◎ 都市域大気汚染と気象要素に関する一考察

京大 正 平岡 正 勝
" " " " " " 学 池 戸 田 有 光
" " " " " " " " 学 池 戸 田 高 明

(II-234) (欠番)

(II-235)◎ 大気環境基準について(その4)

関西大 正 庄 司 光
京大 " " " " " " 学 塚 谷 恒 雄

(II-236)◎ 大阪国際空港周辺の航空機騒音について

大阪府 正 中 村 隆 一
" " " " " " " " 学 厚 井 弘 志

第 III 部門 (土質力学・基礎工学・岩盤力学など)

1号館1階5番教室
10月1日(金)

個人発表(岩盤)
13.00~14.15

- (III-1) (欠番)
- (III-2) 水平スリットをもつ脆性供試体の一軸圧縮における破壊開始と最終強度との関係について
東北大正○田野久 貴雄
佐武正
- (III-3) 岩盤に対する溝による掘削性について
京大正 皇 昭治郎
" " 岡本 億見
" " 学山 光一
- (III-4) ⑤ プリスブリティング爆破工法におけるき裂の制止機構
日本アイビーエム 正○浅井 達雄
京大 " 花崎 紘一
" " 佐藤 孝一
- (III-5) ⑤ 火薬の爆発に起因するコンクリートの破壊とプリズブリティングの効果に関する報告
京大 伊藤 一郎
" " 正 佐 宏
前田建設 " " 桑 島 孝
" " " 小 嶋 雄

(休憩 10分)

個人発表(圧密)
14.25~15.55

- (III-6) Terzaghi の圧密方程式が内蔵する変形条件
広 大 正 吉 国 洋
- (III-7) 帯状荷重による二次元圧密の計算
京大正 皇 昭治郎
" " " 太 田 秀
" " " 学○金 田 真
- (III-8) 不均等地盤の圧密計算例
阪市大正○三 笠 正 人
" " " 高 田 直 俊
" " " 学 東 田 淳
- (III-9) 三次元非線型圧密理論について
京大正 皇 昭治郎
" " " 太 田 秀
- (III-10) 有機質土の繰返し圧密特性について
九 大 正 山 内 豊 聡
西日本工大 " " 安 原 一 哉
九 大 学 了 戒 公 利
- (III-11) ⑤ 粘土の K_0 -圧密に関する 2, 3 の実験と考察
京大正 八 木 則 男
" " " 学○西 川 一 夫

1号館1階5番教室
10月2日(土)

個人発表(砂の変形・強度)
9.00~10.15

- (III-12) ⑤ 繰返し荷重による粒状体の構造変化について
信州大正小西純一

- (III-13) 二次元積層体によるせん断中の粒子移動特性について
長崎大正○落合 英豊
九 大 " " 山 内 豊
長崎大 " " 棚 橋 由 彦
- (III-14) ⑤ 砂の変形にともなう構造変化に関する研究
埼玉大正小田 匡 寛
- (III-15) ⑤ 直接せん断時における砂の動き(第二報)
東洋大正赤木 俊 允
- (III-16) ⑤ 土の応力比-ひずみ増分比関係について
京大正○松岡 元一
" " " 学 磯 田 真

(休憩 10分)

個人発表(砂の変形・強度)
10.25~12.10

- (III-17) 乾燥砂の変形特性に関する実験的研究
北 大 正○土 岐 祥 介
鹿 島 建 大 " 吉 田 博
北 " " 北 郷 繁
- (III-18) ⑤ 平面ひずみ状態における飽和砂の非排水せん断特性
名 大 正 市 原 松 平
" " " " 松 沢 田 公
" " " " 山 田 夫
- (III-19) ⑤ 砂の三軸セル試験における一般的な変形常数
東北大正学○河上 房 義
" " " " 学 須 戸 靖 史
" " " " 正 藤 良 清

(III-20) (欠番)

- (III-21) ⑤ 三軸圧縮における応力-歪特性(第2報)
東 大 学 ○ 龍 岡 文 夫
- (III-22) ⑤ 乱さない砂質土のせん断特性について
阪市大正柳 大 夏
- (III-23) ⑤ 高拘束圧下の砂のせん断強度に及ぼす粒子破碎の影響
九州工業技術試験所 正○三 浦 哲 彦
九 大 " " 山 内 豊 聡

(休憩 50分)

個人発表(粘土の変形・強度)
13.00~14.15

- (III-24) 間げき水圧係数Aに及ぼす粘土構造の影響
日 大 正 浅 川 美 利
" " " " 学 ○ 宮 森 建 樹
" " " " 学 畑 野 俊 久
- (III-25) ⑤ 不飽和粘土に発生する間げき圧について
長野高専正峰村 信 雄
- (III-26) 間げき水圧の挙動におよぼす応力履歴の影響について
北 大 正○三 田 地 利 一
道 開 発 局 " " 高 橋 喜 繁
北 " " " 北 郷 郷 一
- (III-27) 不飽和粘性土の力学的性質に関する一報告
早稲田大正綿引 恵 一
- (III-28) 圧密特性に及ぼす粘土構造の影響
日 大 正○浅 川 美 利
" " " " 学 ○ 宮 森 建 樹
" " " " 学 丸 山 誠 誠

(休憩 10分)

個人発表(粘土の変形・強度)
14.25~15.40

- (III-29) 正規圧密粘土のクリープ挙動について
 京大正村山朔郎
 Princeton Univ. Ahmet Cakmak
 京大正西垣好彦
- (III-30) 粘土のヤング率の歪レベルによる変化
 阪市大正西垣好彦
- (III-31) 過圧密粘土の強度について
 神戸大正軽部大蔵
- (III-32) K₀-圧密を受けた粘土のせん断特性について
 京大正八木則男
 " " 学西川一夫
- (III-33) 一面(箱型)せん断による変形挙動の観察
 一粘土の実験
 日大正杉内祥泰
 " " 学吉野哲朗

1号館1階5番教室
10月3日(日)

個人発表(地盤の動的性質)
9.00~10.15

- (III-34) 杭打による地盤の振動
 東大正松本嘉司
 " " 学大嶋嶋孝二
 " " 学島崎敏一
- (III-35) 洞道(地下トンネル)に対する杭打機による振動の影響について
 電々公社正中村勝
- (III-36) 杭打ち込み時における地盤振動
 名城大正堀内孝英
 " " 学江坂置英裕
 東海カッター興業"〇玉置
- (III-37) 地中防振壁による地盤振動の軽減に関する実験
 立命館大正鳥山直隆
 " " 学早川清
- (III-38) 爆破振動の軽減法に関する検討
 京大正伊藤藤一郎
 " " 学佐藤一宏
 西松建設"〇谷本伯

(休憩 10分)

個人発表(地盤の動的性質)
10.25~12.10

- (III-39) 沖積地盤の地震応答特性および震度分布について
 (大阪市の場合)
 京大正吉川宗治
 大阪土質試験所"〇岩崎好規
- (III-40) 新潟県高場山地すべり地域における常時微動特性
 信州大正島担生
 " " 学野村文生
- (III-41) ケーソン基礎の2次元耐震安定計算
 本四公団正多田浩彦
 " " 学山根哲雄
- (III-42) 杭基礎の動的地盤反力係数の計算
 東大正〇伯野元彦
 " " 学〇白砂間秀健
 住友建設"〇日本秀世
- (III-43) 地盤内応力波伝播問題の粘弾性学的アプローチ
 (2)
 京大正赤井浩一
 " " 学〇堀正幸
- (III-44) Shock-Tube を用いた土中の波動伝播実験
 京大正赤井浩一
 " " 学堀安藤正信
 " " 学〇安藤藤上夫
 " " 学霜上夫生

- (III-45) 爆破に伴う電気現象について
 関西大正谷口敬一郎
 " " 学〇平尾幸太郎

(休憩 50分)

個人発表(土の動的性質)
13.00~14.15

- (III-46) 線形粘弾性論による粘性土の減衰特性に関する考察
 京大正〇赤井浩一
 " " 学岡野真久
- (III-47) 飽和土のポワソン比
 東大正石原研而
- (III-48) 低速度ホプキンソン棒法の問題点
 東海大正森田定一
 " " 学〇赤石市馬勝
- (III-49) 砂中の音速の理論計算と測定
 東工大正〇奥島基良
 " " 学〇本岡誠淳夫
 横河電機"〇跡部
- (III-50) 砂中の応力波伝播に関する2,3の問題
 防衛大正〇佐藤藤谷志
 " " 学〇小大平至徳

(休憩 10分)

個人発表(土の動的性質)
14.25~15.40

- (III-51) 振動時の乾燥砂のせん断強さについて
 東北大正河上房義
 " " 学〇柳柳部栄司
 鹿島建設"〇阿部裕
- (III-52) 土の動的せん断弾性係数について
 京大正〇柴田徹夫
 " " 学〇石黒良
- (III-53) レキ混り砂の動的変形特性に関する研究
 神戸大正〇坂本喜一
 " " 学〇谷本元稔
- (III-54) 振動三軸試験機とその粘性土への適用について
 京大正赤井浩一
 " " 学〇岡野真尚久
- (III-55) (欠番)

(休憩 10分)

個人発表(土の動的性質)
15.50~16.50

- (III-56) 粘土を含む砂の液状化について
 九大正山内豊聡
- (III-57) 飽和砂の液状化と有効拘束圧
 東大正石原研而
 " " 学〇吉田研喜
 " " 学〇李相一
- (III-58) 衝撃荷重による飽和砂の体積変化について
 鹿島建設正保口光敏
 " " 学〇山田田敏功
- (III-59) 飽和砂の液状化に関する一考察
 新潟大正小川正二

1号館2階6番教室
10月1日(金)

個人発表(斜面・支持力)
13.00~14.10

- (III-60) フィルダムの斜面侵食について
愛知工大 正 大西 根 義 男
" " " 〇木 堀村 高勝 弘行
- (III-61) 小段をもつ斜面の安定計算
沢建大 正 西 田 義 親
金東大 〇松 井 晴 生
" " " 〇松 井 直 正
- (III-62) ロックフィルダムの安定に関する模型実験
—せん断試験結果との関連性について—
阪市大 正 三 笠 正 人
" " " 〇高 田 直 俊
" " " 〇高 田 秋 利
- (III-63) ノリ面の崩壊のバラツキについて
東大 正 伯 野 元 彦
" " " 〇浅 野 照 雄
- (III-64) 造成斜面の損傷
日大 正 〇神 谷 貞 吉
" " " 〇神 今 野 誠 誠
- (休憩 5 分)

個人発表 (斜面・支持力)
14.15~15.55

- (III-65) 砂質盛土の浸透と崩壊に関する実験的研究
九大 正 内 田 一 郎
" " " 〇松 本 三 明
東亜道路 〇福 田 田 郎
日本舗設 〇福 稲 田 一
日清水建設 大 津 秀
- (III-66) シラス斜面の安定性に関する一考察
宮崎大 正 藤 本 広
- (III-67) 地すべり圧とすべり面の破壊相互作用
西日本工大 正 玉 田 文 吾
- (III-68) 有限要素法による斜面の安定解析
建設省 正 〇山 名 清 郷
" " " 〇山 山 口 柏 樹
" " " 〇山 木 村 孟 昭
" " " 〇山 木 村 孟 昭
- (III-69) 支持力係数 N_r に関する実験値
名大 正 〇市 原 松 平
" " " 〇市 森 信 夫
- (III-70) 有限深さの砂地盤の支持力
東大 正 今 井 五 郎
- (III-71) 弾性率が深さとともに指数的に変化する地盤内の応力と変位について
東工大 〇尾 上 篤 生
" " " 〇尾 山 口 樹 樹
" " " 〇尾 山 口 村 孟 孟

1号館2階6番教室
10月2日(土)

個人発表 (杭・矢板)
9.00~10.15

- (III-72) 掘削に伴う矢板壁の挙動について
国鉄 正 〇平 野 衛
東工大 " " 〇山 山 口 樹
" " " 〇山 木 村 孟 朝
" " " 〇山 木 村 孟 朝
- (III-73) シールド工法にともなう沈下防止用矢板の挙動
について
佐藤工業 正 石 橋 時 男
" " " 〇岩 藤 藤 正 彦
" " " 〇岩 藤 藤 正 彦
" " " 〇岩 藤 藤 正 彦
- (III-74) 鋼管矢板ウエルの群グイ効果について
川崎製鉄 正 肱 黒 和 彦
" " " 〇富 永 真 生

- (III-75) 橋脚基礎に用いた鋼管矢板セル型ウエル工法に
ついて
道開発局 正 高 橋 陽 一
- (III-76) 仮締切を兼用した鋼管矢板井筒基礎の研究
川崎製鉄 正 嶋 文 雄
" " " 〇林 芳 孝
" " " 〇川崎製鉄 〇齊 藤 藤 成
" " " 〇齊 藤 藤 成
- (休憩 10 分)

個人発表 (杭・矢板)
10.25~11.55

- (III-77) 杭の水平抵抗について (杭にはさまれた土の挙
動の解析)
石川島播磨 正 〇田 中 晴 久
" " " 〇田 中 口 昌 宏
" " " 〇田 中 口 昌 宏
- (III-78) 横力を受ける杭の挙動 (その二)
法政大 正 山 門 明 雄
" " " 〇牟 田 親 弘
" " " 〇牟 田 親 弘
- (III-79) 軸力を受ける単杭の水平抵抗に関する研究
立命館大 正 西 本 安 範
- (III-80) 北上大堰の基礎構造について
東北地建 正 会 津 正 人
- (III-81) 地盤の非弾性的性質を考慮した鉛直組杭の解法
立命館大 正 勝 見 雅
- (III-82) 粘性土地盤中の小型井筒の水平抵抗について
国鉄 正 田 村 浩 一
" " " 〇神 谷 良 陳
" " " 〇神 谷 中 紀 男
- (休憩 65 分)

個人発表 (杭・矢板)
13.00~14.15

- (III-83) 杭の先端支持力に関する考察
九州産大 正 〇石 堂 稔 義
" " " 〇野 間 口 明 義
- (III-84) 先端角の差異によるくい先端支持力について
名城大 正 柴 田 道 生
- (III-85) かたい砂層と洪積粘土層における鋼管杭の支持
力試験
日建設計 正 松 井 彰 亨
" " " 〇横 山 置 泰
" " " 〇横 山 置 泰
- (III-86) フリクションカッターがくい打込みと鉛直支
持力に与える影響について
新日鉄 正 〇新 見 吉 和
" " " 〇新 武 村 昌 昌
" " " 〇新 武 村 昌 昌
" " " 〇新 武 村 昌 昌
- (III-87) くい先端部地盤の破壊領域について
名城大 正 柴 田 道 生
" " " 〇阿 部 武 志
- (休憩 10 分)

個人発表 (杭・矢板)
14.25~15.55

- (III-88) 支持グイの載荷試験における沈下特性について
鹿島建設 正 永 田 慧
- (III-89) 異形合成くいの特性に関する 2, 3 の考察
名城大 正 柴 田 道 生
" " " 〇深 谷 実 実
- (III-90) フーチングの剛性を考えたグイ反力の検討 (2)
首都高速 正 小 村 敏 敏
" " " 〇矢 村 敏 敏
" " " 〇矢 村 敏 敏
大成建設 " 金 井 敏 敏
- (III-91) 杭のネガティブフリクションに関する 2, 3 の
検討
阪大 正 伊 藤 富 雄
" " " 〇伊 藤 井 保 誠
" " " 〇伊 藤 井 保 誠

- (III-92) 大口径場所打ち杭の軟岩中での挙動
西松建設 正松野 倬也
" " "〇谷本 親伯
- (III-93) 単杭の挙動に関する一考察
法政大 正山 門明
" " "〇牟牟 田新
間 " 組 "〇草 深守
弘人

1号館2階6番教室

10月3日(日)

個人発表(試験法・調査法)
9.00~10.15

- (III-94)⑤ インパルス音波による柿田川水源の地層探査
東工大 正奥島 基良
" " "〇本木 岡誠 一行
- (III-95) 音波検層の土木工学への応用と実例
石油資源開発 正山 下武
" " "〇藤 原忠 男
- (III-96) (欠番)
- (III-97)⑤ Soil Strain Gage による土中応力の測定法について
広島大 正網千 寿夫
" " "〇川 村祐 三
- (III-98)⑤ 土圧計の応答特性
名大 正市原 松平
" " "〇松 沢恒 宏
道路公団 " 石井 恒久
(休憩 10分)

個人発表(試験法・調査法)
10.25~12.10

- (III-99)⑤ 締固め試験値とコーン貫入試験値の相関性に関する構造的な研究
京大 正松尾 新一
" " "〇宋中 村嘉 次
- (III-100)⑤ 標準貫入試験におけるロッド長の影響
東海大 正宇都 一馬
" " "〇冬木 原幹 衛雄
- (III-101) 液性塑性両限界の同時測定法に関する研究(第6報)
北大 正中村 耕次
" " "〇北 郷繁 一
- (III-102) フォールコーンにおける容器深さの影響
函館高専 正佐野 信房
" " "〇清 水誠 一
- (III-103) 三軸圧縮試験に関する基礎的研究
(供試体の大きさとせん断速度の影響)
都立大 正井上 広胤
" " "〇中 西典 久
- (III-104)⑤ 各種の急速圧密試験法の比較について
広島大 正網千 寿夫
" " "〇吉 国谷 義 洋信
- (III-105) 土質調査結果のばらつきと盛土の破壊確率との関係について
京大 正松尾 稔彦
" " "〇黒 田勝 彦
(休憩 50分)

個人発表(土性・特殊土)
13.00~14.15

- (III-106) マサ土の高圧せん断特性
関西大 正西田 一彦
" " "〇香 川一 満

- (III-107)⑤ マサ土の風化度と色調の相関性についての実験的研究
京大 正松尾 新一
" " "〇沢 平 孝
- (III-108) 乱さないシラス供試体の引張り強さに関する含水比の影響について
鹿児島高専 正村田 秀一
九 " 大 "〇山 内豊 聡
- (III-109) 火山灰土のねり返しによる強度低下
熊本大 正鈴木 敦己
" " "〇荒 牧昭 二郎
- (III-110)⑤ 強制乾燥処理した関東ロームの2,3の性質
中央大 正久野 悟郎
フジ工業 " 石山 和正
" " "〇鎌 田雄 孝

(休憩 10分)

個人発表(土性・特殊土)
14.25~15.40

- (III-111) 土質材料構成方程式の多相混合体としての考察(2)
京大 正足立 紀尚
- (III-112) 三軸復層供試体の変形特性について
九大 正〇卷内 勝彦
" " "〇山 内豊 聡
- (III-113) 砂と粘土の混合土の強度特性について
北大 正北郷 繁之
" " "〇鈴 木輝 之
- (III-114) レキ混り土の乾燥密度に寄与する要因について
福岡大 正吉田 信夫
- (III-115) 締固めた土の吸水による土性の変化について
中央大 正久野 悟郎
" " "〇並 木和 智
本四公団 正阿部 和智
(休憩 10分)

個人発表(土性・特殊土)
15.50~16.50

- (III-116) 湿潤土の二、三の膨潤特性について
山梨大 正〇箭内 寛治
基礎地盤C " 横川 治 蔵
- (III-117)⑤ 南極大陸氷床表面の交通路工学的基礎研究
名京大 渡邊 興一
" " "〇伊 藤 亜 一
- (III-118) 日本統一土質分類の考察
名大 正〇植下 協正
" " "〇野々 垣 一
- (III-119) 物理的性質を考慮したシラスの分類について
鹿児島大 正春山 元寿

1号館2階7番教室

10月1日(金)

個人発表(土質改良)
13.00~14.15

- (III-120)⑤ 極軟弱地盤中の生石灰工法における改良効果についての考察
電電公社 正山内 研
- (III-121) GLASS FIBER 混合土の強度特性について
福岡大 正吉田 信夫
" " "〇一ノ 瀬明 広
- (III-122) 水溶性ポリウレタン樹脂のり面防護剤の性能に関する実験
大林組 正斉藤 二郎
" " "〇内 藤純 二
" " "〇岡 田純 二

第 IV 部門 (道路工学・鉄道工学・交通計画・都市計画・国土計画・測量など)

1号館3階10番教室

10月1日(金)

個人発表(計画論)
13.00~14.15

- (IV-1)◎ 通勤鉄道の路線選定に関する研究
東工大正菅原 操
国鉄学○森地 茂
池田 高
- (IV-2)◎ 鉄道貨物駅の集約化に関する研究
東工大正菅原 操
交通公社学○杉林 浩
正 清
- (IV-3) 新設交通機関選択モデルについて
東工大正菅原 操
国鉄研学○菅 啓
- (IV-4)◎ 旅客航空輸送における最適運用計画
東工大正菅原 操
大学学○北条 俊
岡本 光
本 彦
- (IV-5)◎ 200キロ超高速道路計画(第1報)
日大正岡本 但
学○小島 夫
木 量
島 透
- (休憩 5分)

個人発表(計画論)
14.20~15.50

- (IV-6) 施設規模決定のための数学モデルに関する一考察
日本水道C正○大門良 巳
" " "中村正 久
- (IV-7)◎ 資源計画の最適化について
鹿島建設正○庄平塚 幹
" " " " 子田本 義
" " " " 塚 地
" " " " 本 方
- (IV-8) 南スマトラランポン地区のメイズハンドリング計画と開発途上国における大型農場の開発のあり方
三井共同建設C正前田慶之助
" " " " 藤正 敬
" " " " 太 正 彦
- (IV-9)◎ 瀬戸内海沿岸地域の計画に関する補完的機能システムよりの一考察
京大正木俣 昇
- (IV-10) 筑豊地域の再開発について
九道路大正○内田一 郎
間路公団学○富永 健
" " " " 石 井 恭
" " " " 井 一
" " " " 石 井 二
- (IV-11) 国土防衛の基本的考え方
日大正岡本 但 夫

1号館3階10番教室

10月2日(土)

個人発表(投資効果)
9.00~10.00

- (IV-12)◎ 輸送施設の投資順位づけのためのモデルとその適用例(その1 バイブライン網)
東工大正○中山村英 夫
運輸省学○山田 幸
" " " " 田 正

- (IV-13) 段階的港湾投資計画に関する基礎的研究
京建大正長尾 義
設設大省市学○高田 邦
大 阪 市 高 田 幹
- (IV-14) 建設工事の地域経済に及ぼす効果について
一北上特定地域における事例を中心に一
北大正小川 博 三
- (IV-15) 国道46号線,仙岩峠の計画調査について
東北地建学○岡崎 聡
" " " " 佐々木 隆
" " " " 佐々木 哲 士
" " " " 木 郎
- (休憩 5分)

個人発表(土地利用)
10.05~11.50

- (IV-16)◎ 航空写真による海岸地域の分析
東工大正○内山久 雄
北海道庁学○西 股 克 己
- (IV-17)◎ 集積効果と競合効果 そのII
東工大正学○稲村 肇
- (IV-18)◎ 大規模海洋性レクリエーション基地の計画
東工大正学○鈴木 忠 義
- (IV-19) 都市的土地利用主体の立地行動に関する一考察
京大正森杉 芳 寿
- (IV-20) 住宅需要者行動に関する一考察
京大正天野 光
" " " " 柏谷 増
" " " " 三 男
- (IV-21)◎ 都市内高層住宅居住者の立地特性に関する研究
京大正天野 光
" " " " 学○中 野 三
" " " " 学○中 野 浩
- (IV-22)◎ 都市世帯の住意識と住宅選択行動について
京大正天野 光
" " " " 学○三 野 三
" " " " 学○三 野 隆
" " " " 学○三 野 享
- (休憩 70分)

個人発表(都市計画)
13.00~14.15

- (IV-23) 市街地部における容積率の相関分析
札幌市正学○森谷 清
" " " " 高 谷 俊 臣
- (IV-24)◎ 日照,日射のおよぼす効果に関する研究
東大正○村井 俊
" " " " 丸 安 隆
" " " " 丸 隆 和
- (IV-25) 組合方式による区画整理事業についての考察
三井共同建設C正前田慶之助
" " " " 東海大学○田木川 康
" " " " 三井共同建設C学○広岡 宗
" " " " 三井共同建設C学○岡田 和 慶
" " " " 三井共同建設C学○岡田 和 慶
- (IV-26) 財源計画からみた都市再開発の可能性について
京大正天野 光
" " " " 学○古野 和
" " " " 学○古野 正
" " " " 学○古野 美
- (IV-27)◎ 京都都心再開発の一提案
京大正天野 光
" " " " 学○古野 和
" " " " 学○古野 正
" " " " 学○古野 美
- (休憩 5分)

個人発表(都市計画)
14.20~15.50

- (IV-28)◎ 京都市の観光交通に関する提案
京大正天野 光
" " " " 学○古野 三

- (IV-29) 西宮市における生活環境の総合評価と施設整備
京大正吉川和 広隆
〇細見
- (IV-30) 土地の価格に関する一考察
京大正戸松 稔
- (IV-31) 都市環境と住民意識
神戸大正枝村俊郎
土研〇池尻勝志
神大〇学〇中村啓子
- (IV-32) 濃度測定による都市計画要素の抽出法(その1)
和歌山高専正星 仰
- (IV-33) 住宅立地条件の定量化に関する研究
金沢大正〇松浦義満
大林組〇白木哲郎

**1号館 3階 10番教室
10月3日(日)**

**個人発表(需要予測)
9.00~10.30**

- (IV-34) 都市における選択行動モデルの研究
京大正青山吉隆
- (IV-35) コンテナターミナルの荷役動態に関する一考察
京大正長尾義通
〇則武彦
- (IV-36) 名神, 東名における高速バス利用について
関西大正佐久間七郎
京西大〇大塚男
関西大〇前塚高
- (IV-37) 集中発生交通量の解析に関する一考察
札幌市正森村英清
〇宮村雄一
〇小野塚
- (IV-38) 流動における距離の分化について
北海大正〇豊島真樹
運輸省〇水井豊
- (IV-39) 東京周辺の住宅地域における通勤交通手段の選択性について
日大正〇高山邦道
三菱地所〇山田清臣
渡辺雅広

(休憩 5分)

**個人発表(需要予測)
10.35~12.05**

- (IV-40) 地域間における物資流動の 2, 3 の特性
岐阜大正加藤晃二
〇岡昭
- (IV-41) バス輸送システムの配車計画について
セントラルC正谷藤正三
日大〇津越芳由
東大〇津越
- (IV-42) ダム群と配水施設の配置計画に関する一考察
京大正吉川和広
〇学〇岡田憲攻夫
- (IV-43) 駐車需要の予測について
神戸大正〇枝村俊郎
〇久井根正守
阪神C〇井塚武雄志
- (IV-44) (欠番)
- (IV-45) サービスエリア内のトラフィックシミュレーション
武蔵工大正〇川浦潔人
〇岩崎征美
〇長崎智子

(休憩 55分)

**個人発表(パーソントリップ)
13.00~14.30**

- (IV-46) パーソントリップをカートリップへ変換する方法
京大正岡本利章
近畿地建〇竹渡内郁義
〇竹内義夫人
- (IV-47) パーソントリップ調査によるデータの精度について
東大正山形耕一
- (IV-48) 回帰モデルによる交通機関別トリップ推計に関する考察
東大正新谷洋二
〇山黒川仁
建大〇黒杉川洗寧
東大〇竹内伝史
建大〇谷内憲幸
- (IV-49) 徒歩交通の発生に関する基礎的考察
名大正〇竹内伝史
〇谷内憲幸
- (IV-50) 名古屋周辺の通勤通学トリップにおける鉄道・道路の輸送分担の現況分析
岐阜大正〇加藤晃
名古屋市〇三浦佩
- (IV-51) パーソントリップ調査の方法論的研究(2)
愛媛大正安山信雄
〇藤山節夫

(休憩 5分)

**個人発表(交通事故)
14.35~16.20**

- (IV-52) 自転車交通の安全対策に関する基礎調査
名城大正水野弘
〇高橋政稔
- (IV-53) (欠番)
- (IV-54) 交通事故分析の1手法としての O-R 分析とその応用
室蘭工大正〇斎藤和夫
〇石井和憲
- (IV-55) O-D 調査ゾーンに基づく室蘭市の交通事故分析
室蘭工大正〇斎藤和夫
〇石井和憲
- (IV-56) 横断歩道橋の利用についての一考察(3)
阪市大正三瀬貞夫
大阪市〇村井哲夫
- (IV-57) 地区内街路の交通事故について
名大正三星昭宏
- (IV-58) 都市内交通事故の面的分析について
北大正加来照俊
〇大堀江清信
〇今江三

**1号館 3階 11番教室
10月1日(金)**

**個人発表(交通制御)
13.00~14.15**

- (IV-59) 即時バス制御方式のシミュレーション
京大正米谷栄二
〇青木和善
〇青木和善
- (IV-60) 交通発生の抑制による交通制御
京大正米谷栄二
〇奥谷二藏
- (IV-61) ランプからの流入交通量予測について
京大正米谷栄二
〇明谷神二証

- (IV-62) 山登り法(パターン法)によるループをなす信号機群の最適制御
 神 戸 大 正 枝 村 俊 郎
 " " " 学 久 井 登 守
 " " " " 藤 松 井 賢 史 雄
 " " " " 原 一
- (IV-63) 信号制御における交通損失に関する一考察
 豊 田 高 専 正 〇 荻 野
 名 工 大 " 渡 辺
 (休憩 5 分)

個人発表(交通流)
14.20~15.35

- (IV-64) 首都高速道路の線形と交通容量について
 首都高速 正 武 田 宏 夫
- (IV-65) 道路登坂部の交通現象について
 東 大 正 越 正 国 毅
 名 大 " 〇 本 郷 毅
- (IV-66) 道路の交通容量に関する一考察
 北海土 正 高 橋 毅
- (IV-67) 勾配部交通流の追越し現象に関する一考察
 北 大 正 板 倉 忠 三
 " " " 加 来 照 俊
 " " " 堀 江 清 一
- (IV-68) 1方向2車線道路における交通量の車線分布について
 京 大 正 佐 佐 木 網
 " " 学 〇 井 上 矩 之

1号館3階11番教室
10月2日(土)

個人発表(交通網計画)
9.00~10.30

- (IV-69) バスを利用した通勤交通について
 一札幌市を例として
 北 大 正 板 倉 忠 三
 " " " 学 〇 小笠原 照 俊
 " " " " 晋 二
- (IV-70) 北海道における必要道路延長に関する研究
 北 大 正 〇 五十嵐 日出
 道 見 工 大 " 〇 塩 田 行 泰
 道 関 発 局 " 林 延
- (IV-71) 道路網の最大容量の評価法について
 金 沢 大 正 飯 田 恭 敬
- (IV-72) 交通量の発生源的研究(その1)
 日 大 正 岡 本 但 夫
 " " 学 〇 木 村 麟 太郎
- (IV-73) 経路解析に関する研究
 東 工 大 学 永 井 護
- (IV-74) 将来観光 OD 予測に関する研究
 東 工 大 正 森 地 茂
 (休憩 5 分)

個人発表(交通網計画)
10.35~12.20

- (IV-75) 都市街路網の構成について(第1報)
 鳥 取 大 正 〇 中 原 清 志
 " " " " 石 丸 裕 造
- (IV-76) 道路網容量からみた交通規制の効果に関する一考察
 阪 市 大 正 三 瀬 貞
 " " " " 〇 西 野 昂 之
 大 阪 市 " 〇 芝 村 弘
- (IV-77) OD パターンと道路網容量に関する一考察
 阪 市 大 正 西 村 昂

- (IV-78) 自動車交通量のメッシュ解析による街路網計画について
 大 阪 市 正 寺 田 久 弥
 " " " 〇 伊 藤 藤 和 雄
 " " " " 本 康 史 男
- (IV-79) 経路別旅客交通量の予測モデル
 名 大 正 河 上 省 吾
- (IV-80) 確率最大化による交通量配分
 名 工 大 正 松 井 寛
- (IV-81) シンプレックス法を用いた等時間原則交通量配分
 京 大 正 佐 佐 木 網
 " " " 〇 井 上 博 司
 (休憩 40 分)

個人発表(線形設計)
13.00~14.15

- (IV-82) 自然地形と景観
 アーバン・インダストリー 正 〇 篠 原 修
 東 大 学 樋 口 忠 彦
- (IV-83) 土木におけるビジュアルデザインの提唱
 東 大 正 〇 丸 安 隆 和
 " " " 学 村 田 井 中 俊 治 郎
 " " " " 田 中 総 太郎
- (IV-84) 一対比較法による道路透視図の判定
 神 戸 大 正 枝 村 俊 郎
 " " " 学 〇 足 立 吉 之
- (IV-85) 道路透視図の定量的表現
 東 大 正 中 村 良 夫
- (IV-86) 路線選定におけるスムーズ・モデルの適用について(その2)
 京 大 正 〇 森 忠 次
 " " " " 大 高 塚 岩 善 男 昭
 兵 庫 県 " " 尾 次 男
- (休憩 5 分)

個人発表(測量)
14.20~15.35

- (IV-87) 自動製図のための新システム
 国 鉄 " 正 阿 部 英 彦
 " " " " 〇 松 崎 恭 三
- (IV-88) ダブルプロジェクター DP-1 について
 日 大 正 堺 野 毅
 " " " " 〇 西 川 肇 生
 " " " " 〇 藤 井 寿 夫
- (IV-89) 距離測定におけるカタナリー線分について
 名 城 大 正 加 藤 正 育
 " " " " 〇 柳 前 田 祐 次
 " " " " " 都 喜 春
- (IV-90) 布テープによる距離測定の精度について
 日 大 正 亀 田 和 昭
- (IV-91) 単三角鎖の厳密解法について
 熊 本 大 正 三 池 亮 次
 東 海 大 " 〇 星 田 義 治

1号館3階11番教室
10月3日(日)

個人発表(舗装)
9.00~10.15

- (IV-92) 新東京国際空港の地区別舗装種別に関する考察
 新東京国際空港 正 青 山 一
 " " " " 〇 阿 部 洋 一
 " " " " 〇 宮 下 盛 雄
- (IV-93) 長方形荷重に対するアスファルト系舗装体の挙動について
 鹿 島 道 路 正 遠 藤 靖
 " " " 〇 小 松 崎 俊 英 雄 昭

(IV-94) たわみ性舗装構造下の路床面の沈下並びに応力
 東京都正○秋山政 敬
 " " " 小池田 夫

(IV-95) プレストレストコンクリート舗装版の路盤摩擦
 によるこう東応力
 東北大正福田 正

(IV-96) 舗装の座屈実験
 日大正川口昌宏
 (休憩 5 分)

個人発表 (舗装)
 10.20~12.20

(IV-97) 路面のすべり抵抗と自動車の運動
 建土研正市原 薫

(IV-98) 地下水を利用した融雪に関する 2, 3 の実験
 金沢大正榑場重 正
 " " " 大深 伸 尚

(IV-99) 砂質土の現場 CBR と室内 CBR の関係
 運第5港建正○須田勝 久
 連港湾技研 " 佐藤 勝

(IV-100) 各種測定方法による砂れき地盤の変形係数につ
 いて
 京大正柴田 徹
 阪神高速 " 高村 昭
 基礎地盤C " 東酒井 清
 " " " 酒井 雄

(IV-101) わが国における路盤凍結の可能性について
 一とくに東北地方を主として
 秋田大正○宮川 勇
 富山県 正 山 田 昌 信

(IV-102) (欠番)

(IV-103) アスファルト・セメントの粘着力にもとづくア
 スファルト混合物の強度特性に関する研究
 早大正森 麟
 大 林 組 " 宮本 秀 一

(IV-104) アスファルト混合物の突固め温度、突固め回数
 とマーシャル試験結果との関係
 名城大正○藤田晃 弘
 名 " " " 水野 弘
 名 " 大 " " 植 下 協

個人発表 (鉄道)
 13.00~14.15

(IV-105) 模型軌道における衝撃荷重の伝播について
 岐阜高専正○渡部卓 郎
 " " " 鎌田 相 互

(IV-106) 軌道振動に対する二軸車の応答とその安定性
 に関する実験的考察
 東大正西岡 隆
 " " " 藤○藤 上 光
 大 林 組 正 井 貞 文

(IV-107) 周期外力によるレールと車輪間の反発力を考慮
 した車輛運動
 東大正八十島 義
 " " " 藤○古 庄 伸 之
 " " " " 助 光 隆

(IV-108) 長径間鉄道吊橋上の走行車輛の問題点
 東大正松本 嘉 司

(IV-109) 実車実験による軌道角折れ通過時の輪軸の応答
 東大正松本 嘉 司
 " " " 藤○中 原 伸 有
 " " " " 光 策
 (休憩 5 分)

個人発表 (鉄道)
 14.20~15.20

(IV-110) 高速鉄道の曲線設計について
 東大正八十島 義之助

(IV-111) 橋りょう支承部の軌道変形が列車走行に及ぼす
 影響に関する模型試験
 鉄研正○岡田勝 也
 " " " 伊藤 文 人

(IV-112) 角折れ区間の実車走行安定性実験
 鉄研正伊藤 文
 " " " 新井田 清
 " " " " 平 五
 " " " " 奥 寿 夫

(IV-113) 噴泥の機構に関する研究
 金沢大正小野 良
 " " " 伊藤 義 男
 (休憩 5 分)

個人発表 (管理計画その他)
 15.25~16.55

(IV-114) 工事計画システムとその実証例について
 京大正吉川 和 広
 " " " 春 名 嶋 攻 博

(IV-115) 建設機械資材の管理運用システムについて
 (その1)
 鴻池組正川崎 健 次
 京 鴻 池 組 " 春 名 坂 隆 一
 鴻 池 組 " 田 坂 隆 一

(IV-116) 栗子トンネルの管理について
 東北地建正大島 一 男

(IV-117) 整地工事における機械稼働の解析
 京大正吉川 和 広
 鴻池組 " 春 名 坂 隆 一
 京 池 組 " 田 坂 隆 一
 京 池 組 大 学 山 本 幸 司

(IV-118) 施工計画・管理システムの構成について
 京大正春名 攻

(IV-119) 土木工学科図書室における図書文献の管理
 名大正○島田 静 雄
 " " " 藤 田 俊 英

第 V 部門 (土木材料・土木施工法・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学など)

1号館 4階 14番教室
10月1日(金)

個人発表 (吉田研究奨励金受領者報告)
13.00~15.15

- (V-1)◎ 軽量コンクリートの疲労耐久性に関する基礎的研究
鳥取大正西林新 蔵次
" " "○阪田 憲
- (V-2)◎ コンクリートの疲労に関する実験的研究
九 大学 松下 博 通
- (V-3)◎ 練りませ時の軽量組骨材の含水量の相違がコンクリートの諸性質に及ぼす影響
広島大正米倉 亜州夫
- (V-4) 連続地中壁の設計施工に関する基礎的研究
国 鉄 正○小林 明 夫 典
" " "○高 木 秀
- (V-5)◎ せん断力を受ける鉄筋コンクリートばりの極限強さ設計法に関する基礎的研究
名工大正吉田 弥 智
- (V-6)◎ 接着剤によるプレキャストコンクリート部材の接合に関する研究
埼玉大正○町田 篤 彦
- (V-7)◎ 三軸圧縮荷重を受けるコンクリート内の微小クラックに関する研究
京 大 正 中 川 浩 二
- (V-8)◎ コンクリート内の微細なひびわれに関する研究
北 大 正 高 田 宣 之
- (V-9)◎ コンクリート舗装のすりへり抵抗に関する室内試験
道路公団 正 三 和 久 勝 道
" " "○堀 田 宣

個人発表 (コンクリートのクリープ)
15.20~15.50

- (V-10)◎ セメントモルタル曲げクリープの基礎的研究
近畿大正○玉井 元 治 克
" " "○山 越
- (V-11)◎ セメントの水和進行式とそのコンクリートのクリープ解析への適用
日 大 正 関 慎 吾 誠 清 雄
電 力 中 研 " " 河 角 原 山 武
" " " " 笠 栗

1号館 4階 14番教室
10月2日(土)

個人発表 (硬化コンクリート)
9.00~10.30

- (V-12)◎ 各種コンクリートの耐熱性に関する実験
福 岡 大 正○大 和 竹 史 明 弘
" " "○坂 田 義 憲
" " " 井 上
- (V-13)◎ 温度サイクルを与えた場合の人工軽量骨材コンクリートの力学的性質について
電力中研 正○河 原 友 純 晃
" " " 原 口
- (V-14)◎ 加熱冷却サイクルをうけたコンクリート供試体の性状
秋 田 大 正○德 田 弘 彦
日 曹 マスタービルダース " 林 俊

- (V-15) 極低温下におけるコンクリートの強度特性
フジタ工業 正 石 山 和 雄
" " 瀬 谷 谷 宗 彦 美 郎 淳 佳
" " "○石 三 井 蒲 幸 一
日 本 酸 素 " 佐 木 忠 忠
" " " 岩 崎

- (V-16)◎ 極低温にさらされたコンクリートの性質について
鹿 島 建 設 正 小 谷 三 明
" " "○中 里 一 吉

- (V-17)◎ 寒中コンクリートの温度履歴と強度
北 海 土 試 正 前 静 男 卓 武
" " "○藤 岡 川 井 村

個人発表 (硬化コンクリート)
10.35~12.05

- (V-18)◎ コンクリート中の骨材と破壊過程
京 電 大 正○小 柳 治 賢 治
電 公 社 " 境
- (V-19)◎ コンクリートの圧縮変形に対する時間効果に関する基礎的実験
九 大 正 德 光 善 治 通 治
" " 学 学 下 本 正
" " "○山 本
- (V-20)◎ コンクリートの強度およびヤング係数におよぼす骨材の影響について
名 工 大 正 吉 田 弥 智 男
道 路 公 団 "○七 沢 和
- (V-21)◎ 一定持続荷重をうけるコンクリート模型柱の破壊に関する研究
九 大 正 德 光 善 治 夫 郎
" " 学 石 川 善 達 哲
" " "○江 崎
- (V-22)◎ プレーンコンクリートの圧縮載荷中の物性
防 衛 大 正○加 藤 清 志 夫
" " 近 江 雅
- (V-23)◎ プレーンコンクリートばりの曲げ疲労き裂の発生と伝播
防 衛 大 正 加 藤 清 志 夫
" " "○近 江 雅

個人発表 (硬化コンクリート)
13.00~14.15

- (V-24)◎ 波動方法によるコンクリート版厚および版品質測定について
立 命 館 大 正 明 石 外 世 樹 啓 一
神 戸 製 鋼 所 " 山 田
立 命 館 大 学 ○ 鑑 野 谷 洋
- (V-25)◎ コンクリート棒内を伝播する高歪圧縮波の減衰について
京 大 正 岡 田 清 代 彦
興 高 専 "○久 喜 孝 一
立 命 館 大 " 児 島
- (V-26)◎ 支圧強度に対する補強効果の理論的考察
神 戸 大 正 藤 井 学
- (V-27)◎ 岩質材料の試験に関する2, 3の考察
京 大 正 小 林 昭 一
- (V-28)◎ 打設時振動によるコンクリート強度特性の変化について
神 戸 大 正 西 村 昭 郎 学 毅
神 戸 大 " 島 藤 田 喜 十
" " "○荒 井 木

個人発表 (硬化コンクリート)
14.20~15.35

- (V-29)◎ 硬練りコンクリートの初期性状について
武蔵工大正小玉 克 巳
飛島建設〇河林 喜 久
" " "〇小 清 男
" " "〇小 清 三
- (V-30)◎ 即時脱型用コンクリートに関する基礎実験
徳島大正〇河野 謙 一
" " "〇河野 謙 一
- (V-31)◎ 超早強セメントの2, 3の基礎的実験
九〇大正〇徳光 善 治
" " "〇徳光 善 治
" " "〇徳光 善 治
- (V-32)◎ 超早強ポルトランドセメントを用いたコンクリートに対する養生条件の影響について
徳島大正〇荒木 謙 一
" " "〇荒木 謙 一
" " "〇荒木 謙 一
- (V-33) フライアッシュを用いたマスコンクリートの命令10年試験について
九州電力正田代信 雄
" " "〇是橋光太郎
" " "〇是橋光太郎

1号館4階14番教室
10月3日(日)

個人発表 (施工一般)
9.00~10.30

- (V-34) 羽越本線折渡トンネル(膨張性地質)の施工について
国鉄正菊地 宏
" " "〇加藤 四郎
" " "〇加藤 四郎
- (V-35) 奥羽本線大平山トンネルにおける掘進機使用について
国鉄正〇大浦 勳
" " "〇大浦 勳
" " "〇大浦 勳
- (V-36)◎ 爆破による「なだれ」の人工的処理法について
北日本雪害研究所正〇小林 文
日大〇新田 文
" " "〇新田 文
- (V-37)◎ 岩盤における吹付コンクリートの施工効果について
熊谷組正〇大塚 夫
" " "〇大塚 夫
" " "〇大塚 夫
- (V-38)◎ セメント・スラグ・水ガラス三成分系による新しい注入工法
東大正丸安隆 和
新日鉄化学〇阪本 好
" " "〇阪本 好
- (V-39)◎ 粘性土を使用したソイルセメントの耐久性について
金沢大正〇榑場 重
" " "〇榑場 重
" " "〇榑場 重

個人発表 (施工一般)
10.40~11.40

- (V-40)◎ 注入条件, 配合条件がプレバックドコンクリートの均等性におよぼす影響について
鹿島建設正〇大原 康
" " "〇大原 康
" " "〇大原 康
- (V-41) 沈埋函底部, 袋モルタル注入について
西松建設正〇吉田 弘
" " "〇吉田 弘
" " "〇吉田 弘
- (V-42) BART耐震設計方法を我国の沈埋トンネルに適用した場合の解析例
首都高速正〇村上山 丸
福山C〇村福村 俊
" " "〇村福村 俊

- (V-43) 東北におけるPC構造物の現況について
東日本コンクリート正安藤 喜
PSコンクリート〇北川 正
オリエンタルコンクリート〇北川 正
北海道PSコンクリート〇北川 正
日本鋼弦コンクリート〇北川 正

個人発表 (コンクリート部材のせん断強度その他)
13.00~15.00

- (V-44)◎ 鉄筋コンクリートはりの曲げおよびせん断変形について
北大正〇角田 史
日本高圧コンクリート〇角田 史
北大〇角田 史
- (V-45) 鉄筋コンクリート桁のせん断破壊について
宮崎大正太田 俊
" " "〇太田 俊
- (V-46)◎ 鉄筋コンクリート梁の腹鉄筋の影響について
日大正北田 勇
" " "〇北田 勇
- (V-47)◎ 軽量コンクリート梁のせん断強さ
広島大正船越 稔
" " "〇船越 稔
- (V-48)◎ RC床版の押抜きせん断疲労耐力に関する研究
北大正藤田嘉夫
" " "〇藤田嘉夫
" " "〇藤田嘉夫
- (V-49)◎ 集中荷重を載荷した周辺固定コンクリートスラブの破壊試験
九〇大正〇石川 夫
" " "〇石川 夫
" " "〇石川 夫
- (V-50)◎ 異形鉄筋の定着特性に関する基礎的研究
東北大正後藤 幸
" " "〇後藤 幸
" " "〇後藤 幸
- (V-51)◎ 鉄筋コンクリートはりのプラスチックヒンジの特性
早大正神山 一
" " "〇神山 一
- 個人発表 (付着, 継手, ひびわれ, その他)
15.10~17.10
- (V-52)◎ 異形鉄筋の重ね継手におけるひびわれについて
東北大正後藤 幸
" " "〇後藤 幸
" " "〇後藤 幸
- (V-53)◎ 太径異形鉄筋のガス圧接法
住友金属正〇士伊藤 秀
" " "〇士伊藤 秀
" " "〇士伊藤 秀
- (V-54)◎ 太径異形鉄筋の使用法
東大正国分 正
" " "〇国分 正
" " "〇国分 正
- (V-55)◎ 太径異形鉄筋の定着長試験
住友金属正士久 秀
" " "〇士久 秀
" " "〇士久 秀
- (V-56)◎ 太径異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート部材のヒビワレ特性
住友金属正士久 秀
" " "〇士久 秀
" " "〇士久 秀
- (V-57) 鉄筋コンクリート部材のひびわれにおける水の浸透深さ試験について
国鉄正近藤 時
" " "〇近藤 時
" " "〇近藤 時
- (V-58)◎ アルミ合金とコンクリートとの付着強度に関する実験的研究
近畿大正水野 俊
" " "〇水野 俊
" " "〇水野 俊
- (V-59)◎ 実験計画法による付着試験
名大正島田 静
" " "〇島田 静
" " "〇島田 静

1号館4階12番教室
10月1日(金)

個人発表(軽量コンクリート, その他)
13.00~15.00

- (V-60) 葉液を吸収させた人工軽量骨材を用いた軽量コンクリートの強度について
日大・電力中研 正 関 慎 吾
日 大 学 〇横 山 英 和
- (V-61) 人工軽量骨材による遠心力締め試験
日 大 正 〇河 合 紘
" " " 〇柳 内 睦
" " " " 〇山 本 高 義
- (V-62) 配合の異なるコンクリートおよびモルタルの乾燥収縮におよぼす環境の湿度の影響について
鳥 取 大 正 西 林 新 蔵
" " " " 〇阪 田 英 郎
" " " " 〇阪 田 憲 次
- (V-63) 人工軽量骨材コンクリートの乾燥による曲げ強度の低下について
東 北 大 正 後 藤 幸 正 直
岩 手 大 " 〇藤 原 忠 司
- (V-64) 人工軽量骨材の強度推定法について
鳥 取 大 正 西 林 新 蔵
" " " " 〇阪 田 英 郎
" " " " 〇吉 川 敏 明
- (V-65) 齋粒・細砂を用いたモルタルの諸性質(続)
金 沢 大 正 〇柳 場 重 正
" " " " 〇川 村 満 紀
" " " " 〇大 深 伸 高
- (V-66) コンクリート用細骨材の粒形に関する実験的研究
道 路 公 団 正 武 田 昭 彦
東 海 大 " 〇菊 本 幸 雄
- (V-67) エアモルタルの吸水・透水性に関する実験
九 大 正 石 川 達 夫
" " 学 〇大 内 村 喜 博
" " " 中 村 宗 喜

個人発表(施工一般)
15.05~15.50

- (V-68) (欠番)
- (V-69) 幕末の長崎製鉄所建設工事における土木技術
東 大 正 高 橋 裕
" " 学 〇島 崎 武 雄
- (V-70) 潜函内における照明の基礎実験
フジタ工業 正 石 山 和 雄
" " " 〇富 沢 秀 一
" " " 〇本 間 臣 治

1号館4階12番教室
10月2日(土)

個人発表(接着, 付着, その他)
9.00~11.00

- (V-71) プレキャストブロックキャンチレバー方式によるPC橋の架設について
東 北 地 建 正 〇加 賀 晋 成
東 北 大 学 張 智 富

- (V-72) PCブロック工法における樹脂接着について
京 大 正 岡 田 清
" " " 〇矢 村 潔
東京電力 " 〇浦 沢 義 彦
- (V-73) プレキャストコンクリート合成はりのずれ破壊耐力の計算法について
岐 阜 大 正 大 浜 文 彦
" " " 〇小 林 和 夫
- (V-74) PCロッドを用いたコンクリート合成断面の挙動について
岐 阜 大 正 大 浜 文 彦
" " " 〇小 林 和 夫
" " " 〇小 笠 原 秀 夫
- (V-75) プレキャストコンクリート桁とプレキャストコンクリート柱との接合に於けるPC鋼材の中間定着に関する基礎研究
東 電 力 中 研 正 国 分 正 嵐
" " " " 〇田 辺 忠 頭
- (V-76) 付着なしのPCげたの静的曲げ実験
国 鉄 鉄 研 正 〇宮 本 征 夫
" " " " 〇岩 崎 岩 久 雄 志
" " " " 〇浅 沼 浩 志
- (V-77) プレテンション部材におけるPC鋼線の付着性について
東 北 大 学 張 智 富
" " " 〇中 島 三 男
- (V-78) プレキャストPC部材で補強した合成コンクリートばりの曲げ性状
東 大 正 岡 村 甫
" " " 〇高 橋 泰 進
" " " 〇松 本 正 進

個人発表(フレッシュコンクリート)
11.05~12.05

- (V-79) コンクリートのコンシステンシーの測定と考察
大 阪 産 大 正 山 路 文 夫
- (V-80) 試作コンクリート用回転粘度計について
都 立 大 正 村 田 二 郎
名 城 大 " 〇菊 川 浩 治
- (V-81) フレッシュモルタルのレオロジー定数に関する一実験
京 大 正 岡 田 清
" " 学 〇水 口 裕 之
- (V-82) フレッシュペーストならびにモルタルの粘性的性質に関する基礎的研究
鳥 取 大 正 〇西 林 新 蔵
" " " " 〇阪 田 英 郎
" " " " 〇阪 田 憲 次

個人発表(コンクリート部材の設計, その他)
13.00~14.00

- (V-83) 多軸曲げをうける鉄筋コンクリート柱の終局強度設計について
京 大 正 岡 田 清
" " " 〇平 沢 征 夫
- (V-84) 丹沢橋りょう(鉄筋コンクリートアーチ橋)の設計について
国 鉄 正 尾 坂 芳 夫
" " " 〇宮 本 尚 彦
" " " " 〇神 山 立 彦
- (V-85) 桃の木川橋りょう(下路PC鉄道橋)の設計について
木 更 津 高 専 正 小 池 晋 男
国 " 鉄 " 〇富 坂 慶 浩
" " " " 〇平 栗 浩
- (V-86) 直結軌道用コンクリート構造物に関する研究—第二新川橋りょう走行試験について—
国 鉄 正 〇宮 田 尚 彦
" " " " 〇小 須 田 元 志
" " " " 〇浅 沼 久 志
- (V-87) 高速大阪界線難波工区におけるPCフーチングの概要
阪 神 高 速 正 徳 永 健 児

個人発表 (コンクリート部材の設計)
14.05~15.55

- (V-88)◎ 曲げおよびねじりを受けるコンクリート部材の挙動についての考察
京大正岡田 清之
立命館大 "○児島 幸
- (V-89)◎ 曲げひびわれの有する桁のねじり剛度に関する二、三の実験について
北大学○佐伯 昇康
日本高压コンクリート 正 素 滋
- (V-90)◎ 偏心ねじりを受ける RC 部材の挙動について
早大正松島 博
- (V-91)◎ 鉄骨鉄筋コンクリート部材の曲げ疲労に関する研究
都立大正村田二 郎隆男明克
東都大 " " 西野 和
首都高速 " " 津野 和
 " " ○山 寺 德
駒井鉄工所 "○梶 山 昭
- (V-92)◎ PRC 構造物の隅角部に関する実験的研究
早都大正神山 一男雄
オリエンタルコンクリート " " ○津野 和幸
 " " 横 溝 幸
- (V-93)◎ 光弾性による PRC 構造物の隅角部に関する研究 (その1)
神奈川県正戸塚 学男明
首都高速 " " ○津野 和
 " " 泉 満
- (V-94) 光弾性実験による PRC 構造物の隅角部に関する研究 (その2)
神奈川県正戸塚 学
- (V-95)◎ 鉄骨鉄筋コンクリート部材の隅角部に関する研究
都立大正村田二 郎隆男明
東都大 " " 西野 和
首都高速 " " ○山 寺 德
- (V-96) 円形開口部を有するコンクリート平板の軸引張試験
電力中研正青柳 征夫志夫
 " " ○大川 沼 道

1号館4階12番教室
10月3日(日)

個人発表 (アルミナセメント, 膨張セメント)
9.00~10.35

- (V-97)◎ 初期養生温度の相違がアルミナセメントコンクリートの体積変化に及ぼす影響
東工大正長滝重 義実
 " " "○今井 重
- (V-98)◎ アルミナセメントの品質改善に関する2, 3の実験
東工大正長滝重 義
- (V-99)◎ 若材令における膨張コンクリートのクリープ性状
東工大正長滝重 義司
 " " "○後藤 重
- (V-100)◎ 膨張セメントコンクリートのクリープに関する基礎的考察
徳島大正荒木謙 一夫尚
 " " "○戸川 一
広島県 " " 田原 克
- (V-101)◎ 一軸拘束によるコンクリートのケミカルプレストレッシングに関する基礎研究
東大正国分正 胤治和
 " " 学○辻 木 幸
- (V-102)◎ 膨張セメントの膨張性状について
東大正小林 輔治
 " " "○伊藤 利

- (V-103)◎ 膨張セメントを利用したコンクリートセグメントに関する2, 3の実験
前田建設正桑原 力
 " " "○山田 一
 " " 吉 岡 修

個人発表 (混和剤, その他)
10.40~12.00

- (V-104)◎ セメントの SO₃ 含有量と減水遅延剤を添加したコンクリートの凝結硬化速度に関する研究
中国電力正藤木 洋一
- (V-105) 2-ケトグルコン酸ソーダーを主体とした減水剤の効果について
日大正堺内 毅男朗
 " " "○竹上 野 秋
 " " 十 三
- (V-106)◎ 各種の混和剤添加コンクリートの耐摩耗性に関する基礎的研究
中部電力正○長谷川 幸雄志
 " " 青野 正
- (V-107)◎ グラウトの膨張圧力の測定 (第2報)
愛知工大正久保直志二
 " " "○森野 奎健
 " " 津 幡 健
- (V-108)◎ ポリマーセメントモルタルの実用強さの算定式
建設研正大浜嘉彦雄
法政大 学○河合 明
 " " 河 合 明
- (V-109)◎ 粗粒フライアッシュの粉碎利用に関する研究
法政大正田中 弘孝
 " " 学○大森 淑

個人発表 (アスファルト)
13.00~15.00

- (V-110)◎ 樹脂とアスファルトを用いた舗装混合物の諸性質について
近畿大正水野俊一
 " " " " 佐野 正
 " " " " 岩井 正
 " " " " 湊 治
 " " " " 松 島 清
- (V-111) アスファルト舗装の施工性に関する研究 (第1報) - ルーズな合材の性状評価法について -
室蘭工大正○新田 登将亮
北 大 " " 高橋 亮
 " " 学 中 村
- (V-112) 繊維を添加されたアスファルトモルタルの力学的性質について
阪市大正三瀬 貞優毅
 " " "○山田 弘
大阪市 " " 田 弘
- (V-113) アスファルト混合物に与えるゴムの効果について
東工大正渡辺 隆彦
 " " 学○渡 辺 暉
- (V-114) 骨材間隙におけるフィルターの存在状態について
東工大正渡辺 隆政
 " " "○阿部 頼
- (V-115)◎ 各種補強材を混入したモルタルの強度変化について
前田建設正原口正 一字三
 " " " " 田 圭
 " " "○出 頭 圭
- (V-116)◎ 三軸試験におけるアスファルトコンクリートの2, 3の性質
立命館大正吉本 彰史嗣弘
 " " " " 川野 正
大阪産業大 学○川藤 正
名城大 " " 藤 田 正
 " " 藤 田 正
- (V-117) アスファルト混合物の動的特性について
東工大正渡辺 隆夫
 " " 学○大 野 達
 " " 大 野 達
- (V-118) フィルダム遮水壁用アスファルト合材の斜面における安定性に関する一実験
鹿島建設正重松 和男健
 " " "○橋 原 健

個人発表(アスファルト)
15.10~17.10

(V-119)Ⓢ アスファルト合材における試験値のバラツキについて

北 大 正 川 野 敏 行
" " 学 正 木 国 春
" " 正 上 島 昭 壮
" " " 中 昭 雄

(V-120)Ⓢ アスファルト合材の応力緩和について 第2報
—主として長時間領域において—

日 本 道 路 正 松 浦 精 一
北 大 学 大 学 森 吉 昭 博

(V-121)Ⓢ アスファルトおよびアスファルト合材の緩和弾
性率に関する研究 第2報
—主として短時間領域において—

大 成 建 設 正 岡 田 和 夫
北 戸 田 建 大 " " 島 木 壮
札 幌 設 市 " " 上 山 恒 昇
" " " " 松 宮 夫

(V-122)Ⓢ 破断歪の四つのレベルについて

大 林 組 正 石 井 哲 夫
北 大 学 大 学 森 吉 昭 博
" " 正 菅 原 照 雄

(V-123)Ⓢ ホイールトラッキング試験における歪分布につ
いて

北 大 正 上 島 壯
" " 学 〇 森 吉 昭
東 京 都 正 武 市 野 俊
" " " 野 俊

(V-124)Ⓢ アスファルト合材の動的応答に関する研究
(第1報)

北 大 学 〇 菅 原 照 篤
" " 正 菅 原 照 篤

(V-125) アスファルト混合物の加熱貯蔵について
(第2報)

日 渡 大 正 〇 三 浦 裕 二
邊 組 " 権 代 長 比 古

(V-126) アスファルト合材の温度伝導について

室 蘭 工 大 正 新 田 登
" " " 〇 高 橋 哲 躬

(V-127)Ⓢ ホットストレージによるアスファルトの老化の
研究
—組成変化と酸化の過程について—

東 亜 道 路 正 〇 笠 原 村 靖
" " " " 橋 居 正
" " " " 鳥 居 敏 彦

土木学会刊行物

PC工法各種指針(案)一覧

コンクリート
ライブラリー 15 **ディビダーク工法設計施工指針** 案

B 5・88 700 円 会員特価 650 円 (〒 80)

コンクリート
ライブラリー 17 **MDC工法設計施工指針** 案

B 5・94 700 円 会員特価 500 円 (〒 80)

コンクリート
ライブラリー 21 **バウル・レオンハルト工法設計施工指針** 案

B 5・100 700 円 会員特価 650 円 (〒 80)

コンクリート
ライブラリー 22 **レオバ工法設計施工指針** 案

B 5・84 700 円 会員特価 650 円 (〒 80)

コンクリート
ライブラリー 23 **BBRV工法設計施工指針** 案

B 5・132 900 円 会員特価 800 円 (〒 80)

コンクリート
ライブラリー 29 **フレッシュナー工法設計施工指針** 案

B 5・124 1100 円 会員特価 1000 円 (〒 80)

コンクリート
ライブラリー 30 **フープコーン工法設計施工指針** 案

B 5・100 予価 1000 円

土質実験指導書

B 5・66 データシート 32 340 円(〒70)

基礎的な 15 項目の実験を取上げ、目標、試験用具、試験料、試験方法、計算および結果の整理、注意事項、関連知識などに分け詳述。

土木材料実験指導書

B 5・134 データシート 53 490 円(〒100)

セメント、骨材、コンクリート、鉄筋、アスファルトの 5 章に分け、それぞれの試験方法を解説。

水理実験指導書

B 5・38 データシート 21 250 円(〒70)

基本的な水理実験を 13 項目とりあげ、目標、使用器具、実験要領、注意、計算および結果の整理、関連知識、疑問などに分け詳述。

構造実験指導書

B 5・112 データシート 36 450 円(〒90)

抵抗線ひずみ計、はり、トラス、短柱、RC 部材、PC ばり、ラーメン、非破壊試験、光弾性実験の 9 項目にわたり編集した実用書。

測量実習指導書

新書版・232 折込付図 13 450 円(〒80)

一般注意、距離、角、トラバース、平板、水準、面積・体積、三角、地形、路線、写真、工事の 12 章に分けたハンディな実用書。

土木製図基準 1970 年版

A 4・152 頁 折込付図 20 1400 円(〒200)

コンクリート標準示方書

B 6・438 頁 1000 円(〒150)

コンクリート標準示方書解説

A 5・354 頁 1300 円(〒150)

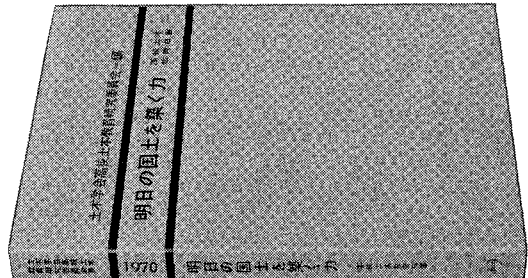
土木技術 フィルム リスト 1970 年版

B 5・126 頁 1000 円(〒90)

土木学会高校土木教育研究委員会編

明日の国土を築く力

高校土木教育白書



目次

論 説

問題提起 / 最上武雄 若い土木技術者に期待する / 山本三郎 工業高校卒業生に望むこと / 丹羽健蔵

1. 国土を豊かにする / 八十島義之助

2. 高校卒土木技術者の活躍 / 委員会編

2.1 アンケート調査の概要 2.2 調査の方法 2.3 卒業後の進路 2.4 高校卒土木技術者の活躍 2.5 仕事と生活 2.6 卒業生からの高校土木教育に対する要望

3. 高校における土木教育 / 委員会編

3.1 学校調査の概要 3.2 土木科設置校の変せん 3.3 教育課程 3.4 施設・設備と経費 3.5 職員 3.6 就職・進学 3.7 在学生の状況 3.8 定時制教育 3.9 私学教育

4. 職場における卒業生の活躍 / 委員会編

4.1 官公庁における高校卒土木技術者の活躍 4.2 企業における高校卒土木技術者の活躍

5. これからの高校土木教育 / 委員会編

5.1 工業教育の目的 5.2 教育課程 5.3 教育の現代化 5.4 進路指導

6. 高校土木教育の歩み / 吉田三郎

7. これからの土木技術者の発展と建設業 / 生出久也

〔付録 1〕 私の歩んできた道 / 齊木多一・松尾梅雄・稲垣力松・中畝武雄・和賀任一・高橋律郎・台石馬三郎・加藤実・池田和幸・川島盛男・村上光由・野沢孝二郎

〔付録 2〕 座談会・これからの高校土木教育に何を期待するか / 磯野隆吉・千本弥三郎・高島信夫・和田幸信・三宅政光(司会)ほか委員会幹事

〔付録 3〕 統計 / 学校基本調査報告書・産業教育・統計と教育・労働白書などより転載



〒160・東京都新宿区四谷1丁目 社団法人土木学会

電話(03)351・5138 振替東京16828



祝 土木学会昭和 46 年度全国大会



株式會社 大林組

取締役社長 大林 芳郎

東京本社 東京都千代田区神田司町2ノ3 TEL東京(292)1111(大代表)
本店 大阪市東区京橋3ノ75 TEL大阪(941)0861(大代表)
支店 札幌・仙台・横浜・名古屋・神戸・岡山・広島・福岡・高松



鹿島建設株式会社

取締役会長 鹿島 守之助

取締役社長 渥 美 健 夫

本社 東京都港区元赤坂1丁目2番7号 電話東京(404)大代3311
支店 札幌・仙台・横浜・名古屋・大阪・広島・四国・九州



清水建設

会長 清水 正 雄

社長 吉 川 清 一

本社 東京都中央区宝町2ノ1
支店 名古屋・大阪・広島・高松
福岡・金沢・仙台・札幌



社長南 幸治

大成建設 東京中央 567
区銀座2-5-15 11

一般土木  浚 渫・埋 立

東洋建設株式會社

取締役社長 藤 井 八 郎

本社 大阪市東区高麗橋5丁目(興銀ビル) 電話大阪(202)代表3961
東京本部 東京都千代田区神田錦町3丁目7番地1(興和一橋ビル) 電話東京(291)代表5461
東京支店
支店 北海道・東北・北陸・名古屋・大阪・中国・四国・九州

祝 土木学会昭和 46 年度全国大会



● 取扱業務 = 上水道・下水道・工業用水道・工業廃水処理・農業水利その他利水工事の調査・事業計画・実施設計・工事監督

日本上下水道設計株式会社

社長 工博 板倉 誠

東京都港区新橋 3 丁目 11 番 8 号 電話 (432) 4321 代
 大阪事務所 大阪市北区神山町 40 番地 電話 (06) 312-2031
 北九州事務所 北九州市八幡区黒崎 3-1-3 電話 (093) 63-3165
 名古屋出張所 名古屋市東区松山町 2 番地 電話 (052) 962-2421
 札幌出張所 札幌市大通西 4 丁目 電話 (011) 231-0948
 広島出張所 広島市東千田町 1-3-12 電話 (0822) 41-3158
 仙台出張所 仙台市中央 3-2-1 電話 (0222) 23-8937

創業 50 年！橋づくりで社会に貢献する ——



日本橋梁株式会社

本社・工場 大阪市大淀区長柄浜通 1 丁目 1 番地 TEL 06-358-1271 (代表)
 東京支店 東京都中央区日本橋通 3 丁目 7 番地 TEL 03-272-3671 (代表)
 九州営業所 福岡市天神 1 丁目 9 番 17 号 TEL 092-74-5088 (代表)
 札幌営業所 札幌市北 3 条西 4 丁目 1 番地 TEL 0122-24-8457
 名古屋営業所 名古屋市中区新栄町 7 丁目 3 番地 TEL 052-971-2668

土質調査・土質試験及び土質力学解析・地表地質踏査・弾性波探査 電気探査・プレシオメータ測定その他構造物 基礎・道路・滑走路・堰提等の調査及設計、施工管理・PS アンカー・工法等土と基礎に関する総合コンサルタンツ



基礎地盤コンサルタンツ株式会社

代表取締役 森 博

本社 東京都千代田区飯田橋 2 丁目 4 番 5 号 (増田ビル) 電話 (263) 3611 (代)
 大阪支社 大阪市西区靱 2 丁目 1 0 電話 (443) 4951 (代)
 福岡支社 福岡市大字原 7 5 0 ~ 3 電話 (83) 2511 (代)
 出張所 札幌 (261) 8041・仙台 (91) 4729・名古屋 (522) 3171 (代)・広島 (31) 4914

土木・建築・線路・電気各工事調査設計施工

東鉄工業株式会社

取締役社長 根来幸次郎

本社 東京都新宿区市谷砂土原町 2 丁目 7
 電話 東京 (268) 代表 4211
 支店 東京・千葉・水戸・宇都宮・高崎・仙台・建築

道路・水路・堤防・貯水池・各種舗装施工

世紀建設株式会社

取締役社長 大島秀信

本社 東京都港区芝公園第 14 号地 25 番
 電話 東京 (434) 3251 (大代表)
 支店 札幌・仙台・新潟・東京
 名古屋・大阪・広島・福岡
 技術研究所 相模原市鹿沼台 2-17-14
 電話 0427(52) 1219

橋のコンサルタント

橋梁の設計、調査、計算、工事管理
 土木建築、設計、調査、計算、工事管理
 道路河川の測量、地質調査設計

大日本コンサルタント株式会社

取締役社長 老田務 専務取締役 吉田四夫

本社 東京都文京区本駒込 3-29-7 電話 (946) 3771
 大阪支所 大阪市西区土佐堀船町 15 (新肥後橋ビル) 電話 (443) 4540
 名古屋支所 名古屋市中区西柳町 2-5 (三喜ビル) 電話 (581) 8993

土質改良と特殊工法

三信建設工業株式会社

代表取締役 市瀬良男

本社 東京都文京区後楽 1-2-7 TEL 813-3521
 支店 大阪市西区京町堀 1-154 TEL 441-6401~2
 営業所 名古屋市中区丸の内 1-2-28 TEL 211-5250
 営業所 仙台市中央 1 丁目 2-2 (三信ビル) TEL 23-7403

祝 土木学会昭和 46 年度全国大会

「橋」は川田の技術で

川田工業株式会社

取締役社長 川田 忠雄

本社 富山・福野・4610 TEL 2101
東京支社 文京・本駒込・3-29-7 TEL (942)0161
大阪支社 西・土佐堀船・15 TEL (443)6051

電気防蝕法

流電陽極方式
アラノード

高濃度亜鉛塗料
ゼッタール

鋼杭をさびから守る

建築基礎・橋梁基礎・棧橋等

調査—設計—施工



日本防蝕工業株式会社

本社 東京都千代田区丸の内1-6-4(交通公社ビル) 電話東京(211)5641代表
大阪事務所 大阪市西区江戸堀北通2-22 電話大阪(443)9271~5
出張所 名古屋・四日市・広島・福岡・長崎・札幌・仙台・千葉

各種グラウト工事に

各種泥水工事に!!

説明書贈呈

トイナトンベ順豊

登録商標

シリカライト

月産能力……16,000吨

本邦最大の生産量

最も古い歴史をもつ

株式会社 豊順洋行

大阪市西区靱2-26 電話(441)5141(代)
東京都港区芝西久保桜川町28 電話(503)4861(代)
名古屋市中村区花車町2-24 電話(581)9866(代)

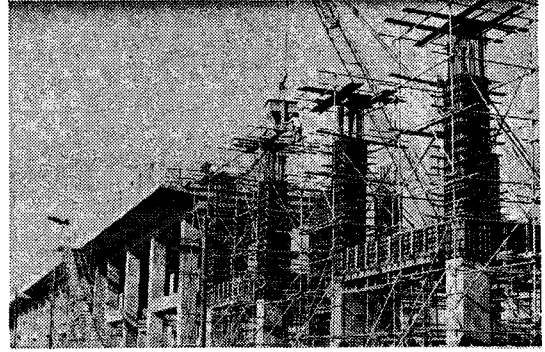
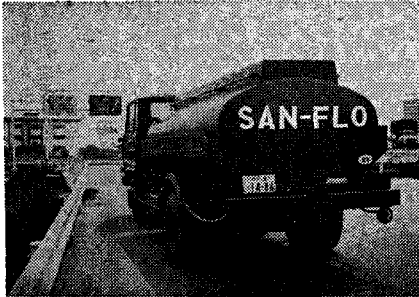
祝 土木学会昭和 46 年度全国大会

山陽パルプのコンクリート減水剤

サンフロ

- 純国産技術により製造
- 品質優良
- 価格低廉

S —— 標準型 SS —— 特殊遅延型
 R —— 遅延型 H —— 特殊早強型
 A —— 早強型



※ご一報次第カタログ進呈致します。

■ 製造元 **山陽パルプ株式会社**

東京都千代田区丸の内1-4-5 TEL 03-211-3411 (代)

■ 発売元

サンフロ株式会社

本社 東京都千代田区丸の内1-4-5 (山陽パルプビル)

TEL 03-214-2961 (代)

大阪営業所 大阪市東区高麗橋5-45 (興銀ビル別館)

TEL 06-203-7635

名古屋営業所 名古屋市西区大船町1-13

TEL 052-571-7505

岩国営業所 岩国市今津町1-18-1 (岩国商工会議所ビル)

TEL 0827-21-6001

岡山営業所 岡山市新屋敷3-3-14

TEL 0862-41-4180

福岡営業所 福岡市博多駅中央街8番36号 (博多ビル) 三洋商事内

TEL 092-41-9071

多摩川橋梁 (相模原線トラス)



松尾橋梁株式会社

本社 大阪市大正区鶴町三十一〇 電話 552-11551 (大代表)
 支店 東京都江東区新砂一七七一 電話 644-4131 (大代表)
 工場 大阪・堺・東 京・千葉



祝 土木学会昭和 46 年度全国大会

HANDBOOK OF STRUCTURAL STABILITY

EDITED by
COLUMN RESEARCH COMMITTEE of JAPAN

好評発売中

構造安定ハンドブック(英文)

日本長柱研究委員会編/委員長 林 毅

B 5 判 1,078頁 / 図版3,050
定価22,000円 箱入 (〒210=都内)

- 航空・宇宙・建築・土木・機械・造船技術者および研究者の必携書。
- あらゆる構造設計への最短コース。
- テータ・文献の引用の便利さ。
- 69年末までの広汎かつ体系的資料を集録。
- 境界領域問題の幅広い評価が可能。

<CONTENTS>

- I. Straight Members
- II. Frames and Curved Members
- III. Plates
- IV. Shells

水処理実験法

(社)日本工業用水協会編
編集委員長 岩崎岩次
▶ A 5 判746頁/定価5,300円(〒170)



コロナ社

〒 112 / 東京都文京区千石 4-46-10
振替東京 14844 / 電話(03)941-3131代



橋梁・鉄骨

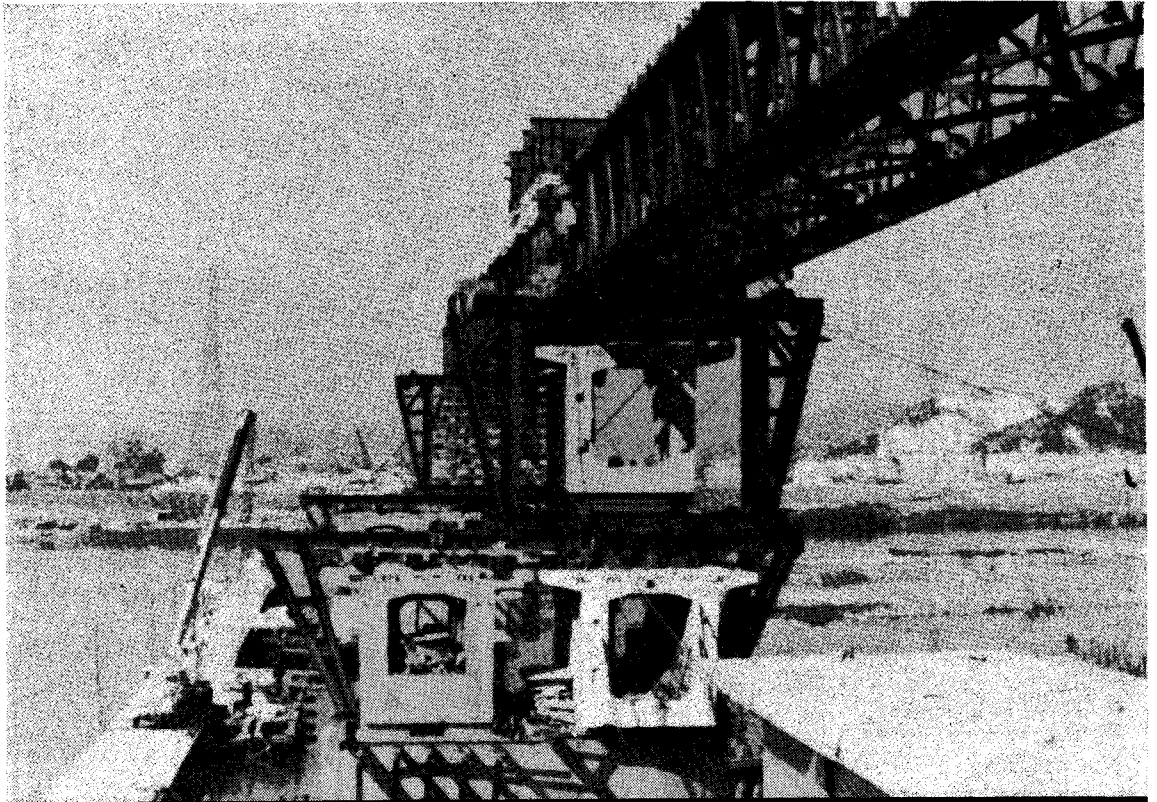
株式会社
宮地鉄工所

本社 東京都江東区新砂 2-2-8
電話 645-1141 (大代表)



西園 上吉野川橋

住みよい国造りに活躍する 建設七社



熊谷組



佐藤工業



鉄建建設



飛島建設



西松建設



間組



前田建設

新刊

書店でも買えますが会員割引はありません。

1. 風速のスペクトルの発達(2)〈光見〉 2. 波面上の風速分布の数値計算〈日野・片岡〉 3. 直線せん断流による風波の発生〈日野・片岡〉 4. 流れの中の風波に関する研究(I)〈加藤・佐野〉 5. 数値計算による台風域内の波の分布について(II)―実際の台風による検討―〈井島・田淵〉 6. 港湾工事のための波浪予報〈吉村〉 7. 流れを遡る波のエネルギーの減衰について〈岩崎・佐藤〉 8. 二次波峰現象における非線型性の解析〈細井・石田〉 9. 表面波の質量輸送について〈浜田〉 10. 波動境界層における質量輸送と海底の洗掘〈野田〉 11. 砕波付近の表面水粒子速度に関する実験〈岩垣・酒井・関沼・川島〉 12. 斜面上における孤立波の変形に関する研究(I)〈尾崎・佐伯・花安〉 13. 越波のある場合の重複波の特性について〈土屋・山口〉 14. 海岸構造物不連続部の波高分布について(第5報)―前面波高の簡単な算定法―〈三井・筒井〉 15. 離岸堤による漁港の波浪遮蔽効果について〈高橋〉 16. 水平板による防波堤と岸壁に関する理論的研究(II)〈井島・尾崎・江口・小林〉 17. 砕波後の波のうち上げ高について〈郭・李〉 18. 波の遡上, 越波および反射の関連性について(第2報)―堤脚水深の影響―〈高田〉 19. 不規則波に対する護岸の期待越波流量について(第2報)〈合田〉 20. 海岸堤防の越波量について〈富永・佐久間〉 21. シート型浮防波堤の消波効果について(II)〈加藤・乃万・萩野〉 22. 直立消波岸壁に関する二, 三の実験的研究〈長尾・加藤〉 23. 透過性防波構造物の水理特性〈近藤・藤間〉 24. 日本沿岸における潮位の計画水面について〈久宝・竹沢〉 25. 混成堤基礎マウンドを被覆するコンクリート方塊の安定重量〈鹿島・斉藤・長谷川〉 26. 直立壁に作用する砕波の波力と波面との関係〈堀川・野口〉 27. 昭和45年冬期異常気象による海象と構造物の被害について〈西田・田中〉 28. 日本海(佐渡中)における燈標に作用した最大波高について〈長崎〉 29. 透過工法による波圧減少に関する実験的研究〈菅野・桜井・塩谷〉 30. 施工段階における消波工の波圧減殺効果に関する実験的研究〈鴻上・時川〉 31. サロマ湖の水理について〈福島・尾崎・柏村・八坂・高橋〉 32. 河口流の実態〈柏村・吉田〉 33. 重複波による底質の浮遊濃度分布〈服部〉 34. 波運動に伴う乱れと底質の浮遊〈堀川・渡辺〉 35. 実験計画法による海浜変形の研究〈増田・伊藤〉 36. 養浜工に関する基礎実験〈堀川・佐々木〉 37. 鹿島海岸沖浜帯の浮遊砂について(第2報)〈井口〉 38. 高知港口付近の漂砂に関する実験的研究〈上森・玉井・亀松〉 39. 須磨海岸の漂砂に関する模型実験〈佐藤・入江〉 40. 波と流れによる砂の移動について(II)〈中村・白石・佐々木〉 41. 台湾東海岸大武漁港の漂砂について〈蘇〉 42. 北海道太平洋岸における海岸浸食の特徴―内浦湾, 日高・胆振海岸の浸食成因調査から―〈鴻上・井波・星〉 43. 千葉県屏風ヶ浦の海岸侵蝕について(2)―航空写真による海蝕崖の後退に関する研究・第3報―〈堀川・砂村〉 44. 富山海岸における漂砂源と卓越方向について―海岸踏査と底質分析とによる検討―〈佐藤・入江・堀江〉 45. 富山湾における海岸礫の移動〈岡本・小島・椎葉〉 46. 防波堤周辺の洗掘および海岸の欠壊について〈和田・岡田・西村・楡井〉 47. 離岸堤に関する研究(第1報)〈永井・久保〉 48. 離岸堤の統計的考察〈豊島〉 49. 河口堆土砂量の計算について〈広田〉 50. 河口閉塞にともなう河道内水位の解析的研究〈樺木・小船〉 51. 淡塩二層流における乱れ拡散に関する研究(1)〈岩崎・阿部〉 52. 流水中での重力拡散〈首藤〉 53. 流れの場に海洋放出された廃水の浮上ブリュームの側方湾曲拡がり〈林・首藤〉 54. 河口密度流に関する二, 三の問題〈中村〉 55. 風浪の淡水湖塩分鉛直混入速度に与える影響〈南〉 56. 沿岸海域における工業用水取排水問題のシミュレーション〈和田〉 57. 汚染物質拡散の数値解法について(その2)〈堀川〉 58. 瀬戸内海における海水の交流と物質の拡散〈速水・宇野木〉 59. 定置式波向計(抵抗歪線型)について〈高橋・鈴木・佐々木・菅原〉 60. 波浪観測データの集中処理方式について〈高橋・鈴木・副島・中井〉 61. 電気油圧式不規則波発生機について〈岩垣・村上・酒井・木村〉 62. 造波機による不規則波の発生〈富永・橋本〉 63. 津波防波堤の効果について(2)〈堀川・首藤・西村〉 64. 津波の汀線における水理特性と陸上遡上〈岩崎・富樫・佐藤〉 65. 高知港の津波と振動特性に関する模型実験〈中村〉

◆バックナンバーあり。第16回 3000円・第15回 3500円・第14回 2500円・第13回 2200円◆

郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目・振替東京 16828・電話 351-4131(直通) **土木学会**

出版案内

ほかに多数の関係図書を取りそろえております。総合図書目録を無料で送ります。ご希望の方は、読者Q1-7係までご請求ください。

森北出版

東京：神田小川町3の10
Tel 03-292-2601(代)
振替：東京34757

新編 土質力学

●改訂版 出来

工博 河上房義 著
A5/336ページ ¥1100

旧著「土質力学」は発刊以来多くの人から好評をえたが、昨年施行されたJIS土質試験法の改訂に伴い、また著者のその後の研究成果や読者からの意見を取り入れ、土の試験に関する事項や土のせん断の項などを全面的に書き改め、理論のみならず実験の手引きとなるように留意した。本書は、学生・技術者にとり土質力学あるいは土質工学への好個の入門書。

新編 道路工学

●新版 出来

工博 内田一郎 著
A5/310ページ ¥1000

本新版は、道路構造令が改正されたのを機会に、旧著を全面的に書き換えたもの。進歩著しい最近の道路交通工学にかんがみ、交通流の章を新しくし、将来の交通量の推定や経済効果の問題を取り上げた。また、幾何構造については、新しい道路構造令に準拠し、舗装・路盤・路床などの路体・地盤についても新技術を多く取り入れ、内容の拡充をはかった。

■新刊、既刊

吊橋の振動解析

工博 猪瀬寧雄・工博 高田孝信 訳
B5 / ¥3000

応用弾性学

工博 猪瀬寧雄 訳
A5 / ¥2500

構造力学

●森北土木工学全書3

工博 伊藤 学 著
A5 / ¥1400

応用水文統計学

工博 岩井重久・工博 石黒政儀 著
A5 / ¥2500

新土木設計データブック-全2巻

工博 成瀬勝武ほか 編
B5 / 上 ¥6000・下 ¥6500

●好評新刊！

建設業入門

飯吉精一著 A5・278頁 定価700円

本書は永年、建設業の中で生き、建設業と共に歩んできた著者が、道々考え、感じ、行動した回想を記したもので、建設業の表裏を描いて余すところがない。建設業に携わる人々の必読の書。

土木施工学

飯吉精一著 B5・308頁 定価1,500円

日本土木建設業史

土木工業協会／電力建設業協会編
B5・1124頁 定価15,000円

●内容見本送呈

技報堂

東京・港・赤坂1-3-6 ☎107

*講義と演習

交通計画

八十島 義之助／花岡利幸 共著

A5判・440頁 定価1,800円

大学の最新カリキュラムに則り、主として大学々部の教科書として著わされた。特に演習問題を豊富に盛りこみ学習の手引とした。また本書は「交通計画」を学問的に体系づけた唯一のものである。

【主要内容】

序論／交通の沿革／交通の姿態／交通と社会の相互影響／交通手段／貨客輸送／交通需要／交通調査／経済効果／交通体系／交通建設計画